

平成 28 年度 富山国際大学 学務部自己点検評価報告書

I. 概 要（現状と課題）

1. 教務系部門（教務課、情報センター、図書館）
2. 学生支援部門（学生課、キャリア支援センター、国際交流センター）
3. 基本情報

II. 委員会・部会（評価・課題）

1. 学務委員会
 - （1）学務委員会
 - （2）教養教育部会
 - （3）FD 推進部会
 - （4）教職課程委員会
2. 図書館委員会
3. 情報センター運営委員会
4. キャリア支援センター運営会議
5. 国際交流センター運営会議

平成 29 年 3 月
富山国際大学 学務部

I. 概 要（現状と課題）

学務部各部門における平成 28 年度実施内容については、平成 26 年度から始まった 3 か年計画のアクションプランで設定した達成目標を含め、実施した内容について取りまとめた。

1. 教務系部門（教務課、情報センター、図書館）

すでに設定している 3 つのポリシーの一貫性と検証可能性に意を払いつつ、新たなポリシーを策定した。特にディプロマポリシーで掲げた目標能力の達成に関する評価方法を、カリキュラムポリシーにおいて明確化した。授業手法であるアクティブ・ラーニングについては、全学的な教員による FD 研修を今年度も実施し、研修が定着してきている。

平成 29 年度からスタートする副専攻プログラムに関して、規程や修了要件を策定した。実施元年である平成 29 年度中にプログラムを更に改善し、グローバル人材や地域創生人材の育成を図る。

なお、授業方法の改善については、共通理解が図られるようになってきた（7 月に英語による授業 FD を実施）。GPA の導入についても今年度より成績表への記載を開始し、学生個人の総合評価値を明確に表示するようにした。

情報分野では、学生の個人 PC 利用状況について現代社会学部（東黒牧）と子ども育成学部（呉羽）との間で利用度に格差があった。そこで 28 年度からは東黒牧での利用率を高めるべく教育方法を変更し、併せて老朽化したデスクトップ PC が設置されたコンピュータ教室を個人用ノート PC 利用専用として再整備した。これによって 1 年生においては学生のノート PC 利用が定着してきている。

ネットワークサービスとしては、学内の WiFi 不感地帯を無くすべく、東黒牧・呉羽キャンパスの無線 LAN 設備を増強するとともに、老朽化したアクセスポイントの交換も実施し、全域での高速 WiFi 利用が可能となった。また IC 学生証で利用できるサービスとして従前から図書館入退出、授業やオリエンテーションへの出席管理などに活用してきたが、28 年度には学生共用プリンタの利用統計も開始し、学生のプリンタ利用動向が個人単位で把握可能となった。

図書館の利用状況は、現代社会学部ではカリキュラム改定により事前事後の学習や資格取得のための自習の場として前年に比べ伸びてきている。子ども育成学部では、短大と共有していることもあり利用の利便性には改善の余地があるが、全体として利用率は高まってきている。

以下は、教務系の主な自己点検評価項目である。

1) 教務課業務

(1) 教育課程並びに履修に関すること

【実施計画・内容】

教学部門の根幹業務に関わる、学則・カリキュラム整備、学生便覧・講義要綱の作成、履修登録と出欠管理について、学生サービスへのサービス低下につながらないよう、学生に常にわかりやすくバックアップできるよう改善しながら業務遂行していく。

また、平成 28 年度は卒業認定・学位授与の方針（DP）、教育課程編成・実施の方針（CP）及び入学者の受け入れ方針（AP）を確立させることが必要であり、並びに新たに授業評価アンケートも自動的に集計できるように「Web シラバス」システムの構築・稼働させることを目標とし、さらに副専攻プログラムの実施に向けての基盤づくりも行う。

【評価・課題】

平成 28 年度は、卒業認定・学位授与の方針（DP）、教育課程編成・実施の方針（CP）及び入学者の受け入れ方針（AP）を確立させ、ホームページにもアップできた。

また、Web シラバスシステムについては、細部に不具合が生じたため、新たなアンケートを搭載する予定となっている平成 29 年度に改善していくこととした。

さらに、副専攻プログラムについては、グローバル人材育成プログラムと地域創生人材育成プログラムが成案となり、平成 29 年度から運用開始することとなったが、在籍生からの適用であるため、単位取得科目について幾つか課題が残っている。

(2) その他教務関係に関すること

【実施計画・内容】

① 大学コンソーシアム富山（単位互換）について

富山県大学連携協議会を発展解消され、平成 25 年度より大学コンソーシアム富山が創設された。その下部組織である教育連携部会において、教務課として「単位互換」にかかる事業を展開する。

② 公益財団法人富山県ひとつく財団助成金について

毎年、富山県外郭団体の標題財団が、県内の高等教育機関の教育研究活性化推進をすべく、一定の事業に

助成支援をしており、その申請・実績報告業務を実施していく。

③ 公益財団法人富山第一銀行奨学財団研究助成金について

毎年、富山第一銀行奨学財団より本学の研究に一部助成し、地域貢献を図っていることから、その申請・実績報告業務を実施していく。

④ COC 事業に伴う業務について

本学が COC+事業の「地(知)の拠点大学」に認定され、「地域課題探求型学習を核としたとやま地域創生人材育成プログラム」に基づく地域志向科目選定等を実施し、事業推進を円滑に進める。

⑤ 副専攻プログラムの運営について

平成 29 年度より在籍生から適用・運用していく副専攻プログラム（グローバル人材育成プログラム・地域創生人材育成プログラム）を軌道に乗せるべく、準備を進める。

【評価・課題】

平成 28 年度は次のような評価と課題であった。

① 大学コンソーシアム富山（単位互換）について

実施計画に基づき、9 月 5 日から 8 日まで開講した大学コンソーシアム富山単位互換科目「とやま地域学」に、県内学生の受講人数は、65 名であった。富山県に関する様々な情報を、富山県知事の講義と意見交換も交え、資料やデータなどから、日本や国際社会と比較し、富山の強み、問題点などの特色を知ること、そして 21 世紀の富山活性化策について考える 4 日間を計画どおり実施できた。

また、平成 28 年度に初めて実施した富山県環境政策課とのタイアップで 8 月 10 日から 12 日まで開講した「環境政策論」には、38 名（うち一般聴講生 9 名）が受講した。富山県の「環境」にかかる取組を、各関係部署から講義していただき、最終日に富山市内の小水力発電所などを見学した。

また、他の単位互換科目では、富山高等専門学校から現代社会学部の授業に 1 名受講実績があった。

② 公益財団法人富山県ひとづくり財団助成金について

平成 28 年度は次のような実績となった。

【受給状況】

- ・ 2 号助成：シンポジウムの開講に対する助成 国際交流センター 1 件 子ども育成学部 1 件
- ・ 3 号助成：公開講座の開講に対する助成 現代社会学部 1 件
- ・ 4 号助成：著名研究者等による学術講演会の開催に対する助成 子ども育成学部 1 件
- ・ 5 号助成イ：地域課題の解決に取り組む研究 現代社会学部 1 件
- ・ 7 号助成ア：学生確保推進支援事業 大学全体 2 件
- ・ 7 号助成イ：大学活性化支援事業 大学全体 1 件

③ 公益財団法人富山第一銀行奨学財団研究助成金について

平成 28 年度は次のような実績となった。

【受給状況】

<現代社会学部 3 件>

- ・ 佐藤悦夫教授 「北陸新幹線開業後の富山県の観光と現状と課題に関する研究」
- ・ 才田春夫教授 「狩猟採集から定住移行期における経済的自立支援－タイ・ムラブリ族を対象として－」
- ・ 高橋哲郎教授 「実践型人材育成教育に関する研究～海外インターンシッププログラムの開発～」

<子ども育成学部 3 件>

- ・ 彼谷環教授 「18 歳選挙権実現と「主権者教育」の可能性に関する考察～諸外国における「政治教育」との比較考察の視点を踏まえて～」
- ・ 松山友之准教授 「子どもの科学的な見方や考え方を養う理科教育の在り方」
- ・ 本江理子講師 「若手保育者の専門性向上に関する研究－養成校と保育現場との協働の可能性を探る－」

<地域交流センター 1 件>

- ・ 大西一成教授 「地域社会の活性化と発展に向けた調査・研究」

④ COC 事業に伴う業務について

平成 28 年度は、前年度に教育カリキュラムと学生の自主的活動を含めて「課題解決学習」「地元学学習」「情報技術向上学習」「社会人基礎力学習」の 4 部門で構成し、学年進行に伴って実践的に課題解決をする力を養っていく学習スタイルを、特に「地元志向科目」を選定し提供できるようにしたことから、その推進のためのサポートを行った。

なお、この事業において「とやま地方創生人材育成プログラム」を推進することとなっており、その包括的プログラムとして、本学独自の副専攻プログラム「地域創生人材育成プログラム」を設置し、平成 29 年度

から適用・運用できるように準備した。

⑤ 副専攻プログラムの運営について

平成 29 年度より在籍生から適用・運用していく副専攻プログラム（グローバル人材育成プログラム・地域創生人材育成プログラム）を軌道に乗せるべく、準備を進めてきた。

以下、規程及び終了要件等を掲載する。

なお、在籍生から適用するため、既に単位を修得したもの、特に海外で修得してきた単位認定と既存の科目単位（成績評価）との整合性について課題が残っている。

富山国際大学副専攻プログラムに関する規程

（目的）

第 1 条 この規程は、富山国際大学（以下、「本学」という。）学則第 20 条の 2 の規定に基づき、本学が開設する副専攻プログラム（以下、「副専攻プログラム」という。）に関し、必要な事項を定める。

（副専攻プログラム）

第 2 条 副専攻プログラムは、本学の各学部で編成する教育課程のほか、学生が所属する学部、学科の専攻に係る専門分野以外の特定の分野やテーマ、学際的な分野等について体系的な教育を実施し、学生の多様な知的探究心を喚起し、幅広い学びを提供し、広い視野と実践力を有する人材を育成することを目的とする。

（副専攻プログラムの名称と目的）

第 3 条 本学に次の副専攻プログラムを設置する。

（1）グローバル人材育成プログラム

確かな外国語コミュニケーション力を有し、多様な文化を理解して、地域社会のグローバル化や国際社会で活躍できる実践力のある人材を育成することを目的とする。

（2）地域創生人材育成プログラム

地域創生で活躍できるリーダーとなり得る、課題解決力と実践力のある人材を育成することを目的とする。

（プログラムの履修事項及び修了要件）

第 4 条 第 3 条に定める各副専攻プログラムの開講科目等の履修事項及び修了要件を別表 1 及び別表 2 に定める。

（履修対象者及び履修申請）

第 5 条 副専攻プログラムは、本学学部中に在籍する学生を対象とする。

2 副専攻プログラムの履修を希望する者は、様式 1 及び様式 2 により入学後の一定の時期に履修申請書を提出しなければならない。

（修了認定及び修了証書の授与）

第 6 条 副専攻プログラムのすべての修了要件を満たし、かつ所属する学部の卒業要件を満たす者には、学部教授会及び運営会議の議を経て、学長が修了認定を行う。

2 学長は、前項の修了認定を受けた者には、様式 3 及び様式 4 により当該副専攻プログラムの修了証書を授与する。

（庶務）

第 7 条 副専攻プログラムに関する事務は、教務課及び呉羽キャンパス事務室が行う。

（雑則）

第 8 条 この規程に定めるもののほか、副専攻プログラムに関し必要な事項は、学長が別に定める。

附 則

この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行し、平成 29 年度在籍者から適用する。

グローバル人材育成プログラム修了要件 *1

Ⅰ. 外国語科目及び多文化共生科目						
No.	科目	単位	開講キャンパス	学期	修了要件	
① 外国語科目						
1	外国語特講Ⅰ	4	東黒牧	前	外国語科目及び多文化共生科目の中から12単位以上修得すること。*2	
2	外国語特講Ⅱ	4	東黒牧	後		
3	TOEICⅠ	2	東黒牧・呉羽	前		
4	TOEICⅡ	2	東黒牧・呉羽	後		
5	Oral Communication	2	東黒牧	前		
6	ビジネス英語	2	東黒牧	前		
7	観光英語	2	東黒牧	前		
8	観光中国語	2	東黒牧	後		
② 多文化共生科目						
9	Issues of Contemporary Society	2	東黒牧	後		
10	国際協力・ボランティア論	2	東黒牧	前		
11	とやま地域学	2	学外	前		
12	地域文化論	2	東黒牧	前		
13	日本の動き	2	呉羽	前		
14	世界の動き	2	呉羽	前		
15	国際コミュニケーション論	2	東黒牧	後		
16	国際関係論	2	東黒牧	後		
17	世界の言語と文化	2	呉羽	後		
18	国際観光論	2	東黒牧	前		
19	世界遺産論	2	東黒牧	前		
20	民族・文化と観光	2	東黒牧	後		
21	人間と宗教	2	呉羽	前		
22	子どもと国際交流	2	呉羽	前		
Ⅱ. 留学・学内外活動						
① 留学						
		ポイント				
23	長期留学	10／6か月			留学・学内外活動で10ポイント以上取得すること。但し、1回以上は海外に出ることを必須とする。	
24	短期留学	3／1か月				
② 学外での実践的な学び活動 *3						
		ポイント				
25	国際交流(ボランティア)実習	2		後		
26	異文化研修(数ヵ国で実施)	2		通年		
27	海外インターンシップ	2		通年		
28	海外での様々な活動 *4	2		通年		
29	地域のグローバル化貢献活動 *5	1		通年		
③ 英語強化プログラム						
		ポイント				
30	TUINS English Camp	2		集中		
31	TOEIC クラウド型学習	2		通年		
32	English Café	2		通年		
33	TOEIC試験対策集中講座	2		集中		
34	エクステンションカレッジ英会話(英語)講座	2	GiG	通年		
Ⅲ. 外国語検定試験 *6 *7						
35	TOEIC(600点)				左記検定試験のうち、いずれか1つ以上を受検し、合格すること。	
36	中国語HSK検定試験(5級)					
37	韓国語TOPIK検定試験(5級)					
38	その他外国語関係検定試験					

＜注意事項＞

- *1. 「Ⅰ. 外国語科目及び多文化共生科目」「Ⅱ. 留学・学内外活動」「Ⅲ. 外国語検定試験」に掲げる各修了要件をすべて満たす必要があること。
- *2. 「Ⅰ. 外国語科目及び多文化共生科目」の中から12単位以上修得し、かつ登録した「外国語科目及び多文化共生科目」全科目のGPAが3.0以上であること。
- *3. 「②学外での実践的な学び活動」のうち、海外での活動は2週間で2ポイントを基準とし、週数や実践回数を考慮して加点する。
- *4. 「海外での様々な活動」の事例として、学生企画による異文化研修、途上国の子どもへの教育支援、他大学又や企業企画のスタディーツアー参加、ワーキングホリデー、海外を対象とした夢への架け橋助成事業などをいう。
- *5. 「地域のグローバル化貢献活動」では、4回1Pを基準とし、回数によって加点する。
- *6. 「Ⅲ. 外国語検定試験」において、TOEIC 600点、HSK 5級、TOPIK 5級に相当する他の検定試験(「検定一覧表」参照)に合格した場合も修了要件を満たしたものと認める。
- *7. 「外国語検定試験」で以下の何れかの条件を満たした場合は、Grade S 修了書が授与される。
TOEIC 730点以上、中国語HSK検定6級合格、韓国語TOPIK検定6級合格

別表2

地域創生人材育成プログラム修了要件 *1

I. 地域志向科目及び地域関連科目 *2					
No.	科目	単位	開講キャンパス	学期	修了要件
① 課題解決型学習					
1	地域づくり実習	2	東黒牧	前	「課題解決型学習」の中から6単位以上修得すること。
2	地域課題探求講座	2	東黒牧	前	
3	観光実習	2	東黒牧	前	
4	環境デザイン実習	2	東黒牧	後	
5	経営情報実習	2	東黒牧	後	
6	インターンシップ	2	東黒牧	1・2・3・4年	
7	地域社会参加活動	2	呉羽	通年	
8	子ども活動実践演習	2	呉羽	前	
9	富山に学ぶインターンシップⅠ	2	呉羽	通年	
10	富山に学ぶインターンシップⅡ	2	呉羽	通年	
② 地元学学習					
11	とやま地域学	2	学外	前	「地元学学習」の中から8単位以上修得すること。
12	地域社会論	2	東黒牧	後	
13	地域文化論	2	東黒牧	前	
14	富山県の文化・自然と観光	2	東黒牧	前	
15	中小企業論	2	東黒牧	前	
16	地域社会と観光	2	東黒牧	後	
17	環境政策論	2	東黒牧	後	
18	環境デザイン特別講義	2	東黒牧	後	
19	自然体験活動	2	呉羽	通年	
20	富山の福祉特別講義	2	呉羽	前	
21	富山の生活特別講義	2	呉羽	前	
22	富山の保育特別講義	2	呉羽	後	
23	富山の教育特別講義	2	呉羽	後	
24	幼稚園教育実習Ⅰ・Ⅱ	1・4	呉羽	後・前	
25	保育所実習Ⅰ・Ⅱ	2・2	呉羽	前	
26	施設実習Ⅰ・Ⅱ	2・2	呉羽	後・前	
27	相談援助実習Ⅰ・Ⅱ	4・2	呉羽	後・通年	
28	教育実習	4	呉羽	前	
29	スクールソーシャルワーク実習	2	呉羽	通年	
③ 情報技術向上学習					
30	ビジネス情報演習Ⅰ	2	東黒牧	前	「情報技術向上学習」の中から4単位以上修得すること。
31	ビジネス情報演習Ⅱ	2	東黒牧	後	
32	情報システム論	2	東黒牧	前	
33	情報技術論	2	東黒牧	後	
34	情報メディア論	2	東黒牧	前	
35	情報ネットワーク論	2	東黒牧	後	
36	情報処理演習	2	呉羽	前	
37	人間と情報	2	呉羽	後	
38	プレゼンテーション	2	呉羽	前	
39	子どもと情報メディア	2	呉羽	後	
④ 社会人基礎力学習					
40	キャリアデザイン講座b	1	東黒牧	後	「社会人基礎力学習」の中から2単位以上修得すること。
41	経営者講座	2	東黒牧	前	
42	キャリア支援講座a	1	東黒牧	前	
43	キャリア入門講座	1	呉羽	後	
44	生活文化演習	2	呉羽	後	
45	キャリア支援講座Ⅰ	2	呉羽	通年	
46	キャリア支援講座Ⅱ	2	呉羽	通年	
Ⅱ. 正課外地域活動 *3		ポイント			
47	助成金(夢の架け橋等)採択・実施	3	東黒牧・呉羽		「課外活動」で、合計10ポイント以上取得すること。
48	セミナー・学会発表	2			
49	学外表彰(クラブ等以外)	2			
50	インターンシップ(卒業認定単位以外) *4	1			
51	ボランティア活動 *4	1			
52	地域活性化活動(一般参加) *4	1			
53	地域活性化活動(委員参加) *4	2			
54	地域活性化活動(責任者参加) *4	3			
55	その他大学が認めた活動 *4	1			
Ⅲ. 地域課題解決型研究・調査活動					
56	卒業研究(地域課題解決型テーマ)		東黒牧・呉羽		外部委員を含めた審査を経ること。
57	その他大学が認めた研究調査活動				

<注意事項>

*1. 「Ⅰ. 地域志向科目及び地域関連科目」「Ⅱ. 正課外地域活動」「Ⅲ. 地域課題解決型研究・調査活動」に掲げる各修了要件をすべて満たす必要があること。

*2. 「Ⅰ. 地域志向科目及び地域関連科目」の合計で20単位以上修得し、かつ登録した「地域志向科目及び地域関連科目」全科目のGPAが3.0以上であること。

*3. 「Ⅱ. 正課外地域活動」で標記されているポイント数は基準であり、活動内容や活動時間によってポイント数を増減する。

*4. インターンシップ、ボランティア活動、地域活性化活動、その他大学が認めた活動に関しては、原則として、10時間程度の活動をもって1ポイントとして換算し、加点する。

様式1

富山国際大学グローバル人材育成プログラム履修申請書

(西暦) 年 月 日

富山国際大学長 殿

学籍番号: _____

学部 _____ 学科 _____

氏 名: _____ 印 _____

富山国際大学グローバル人材育成プログラムに関する規程第3条第1号の規定により、下記項目を記載した書類を添えて申請します。

記

1. プログラムを受ける動機
2. 今後実施してみたい国際活動
3. 目指す外国語検定

以上

【注意事項】

- (1) 上記1から3までの項目を網羅したものを1000字程度で記載し、Wordで作成してください。
- (2) 本プログラムを修了した場合、卒業より特別な認定が授与されますので、目標を持ってプログラムに臨んでください。

様式2

富山国際大学地域創生人材育成プログラム履修申請書

(西暦) 年 月 日

富山国際大学長 殿

学籍番号: _____

学部 _____ 学科 _____

氏 名: _____ 印 _____

富山国際大学地域創生人材育成プログラムに関する規程第3条第2号の規定により、下記項目を記載した書類を添えて申請します。

記

1. プログラムを受ける動機
2. 今後実施してみたい地域での課外活動
3. 目指す免許・資格

以上

【注意事項】

- (1) 上記1から3までの項目を網羅したものを1000字程度で記載し、Wordで作成してください。
- (2) 本プログラムを修了した場合、卒業より特別な認定が授与されますので、目標を持ってプログラムに臨んでください。

様式3

富山国際大学 副専攻プログラム
グローバル人材育成プログラム修了証書
グローバル人材認定証
(Global Human Resources)

学籍番号

氏名

上記の者は、富山国際大学 副専攻プログラム グローバル人材育成プログラムを修了したことを証する

(西暦) 年 月 日

富山国際大学
学長

様式4

富山国際大学副専攻プログラム
地域創生人材育成プログラム修了証書
地域創生推進士認定証

学籍番号

氏名

上記の者は、富山国際大学副専攻プログラム地域創生人材育成プログラムを修了したことを証し、上記の者を地域創生推進士として認定する

(西暦) 年 月 日

富山国際大学
学長

2) 情報センター業務

主な点検項目として、次のものが挙げられる。

(1) ネットワーク・サーバシステム及び機器に関すること

【実施計画・内容】

- ① 全学生のノート PC 携帯化が進む中、デスクトップ PC40 台を設置していた東黒牧 C の第 2 コンピュータ室を、ノート PC 使用に対応したコンピュータ室へと整備した。具体的には老朽化したデスクトップ PC を全台廃棄し、机上に LAN ケーブルを配置してノート PC が容易に LAN に接続できるように変更した。また利用可能な机数を 64 席にして、学生数増加に対応させた。
- ② 上記①にあわせて、老朽化している無線 LAN 設備の交換および無線接続未対応域への増設により、学内の無線ネットワーク接続環境を向上・充実させた。
- ③ 動画・写真共有の増加によるファイルサーバ領域不足解消のためハードディスクを増設した。これに伴って動画・写真共有領域を一般の文書ファイル領域から独立させ、文書ファイル領域のバックアップ効率を高めた。

【評価】

コンピュータ室整備は当初、5 月中旬に完了する予定であったが、業者との折衝に時間がかかり最終的には 10 月初旬になり無事完了した。現在は正常に運用されている。無線アクセスポイント交換・増設は無事完了し正常に運用されている。またファイルサーバシステムは問題なく運用されている。

【課題】

第 2 コンピュータ室はノート PC 対応型に更新したが、第 1 コンピュータ室には旧カリキュラム対応の為に残されているコンピュータがいまだ 8 台あり、その老朽化にどのように対応するか検討する必要がある。

情報センターが担当するハードウェアおよびソフトウェアの入替えや更新作業は、定期的に発生し、高額な支出を伴うことから、長期的な計画が必要となる。

(2) 共用プリンタに関すること

【実施計画・内容】

27 年度に設置した共用プリンタにおいて、東黒牧キャンパス、呉羽キャンパスの両方において、学生のプリンタ使用量を測定し調査したところ、年間にそれぞれ 23,609 枚、および 59,011 枚となっており、東黒牧の学生の利用率が低迷していることが判明した。

【評価】

呉羽キャンパスの学生は開学部当初からノート PC を個人所有する方針によって共用プリンタを利用することに慣れているが、東黒牧の学生はノート PC を所有しているものの、プリンタと直結した大学設置の PC が図書館や教室に在るためノート PC の利用が進んでいなかった。このことからノート PC から利用する共用プリンタの利用もいまだ習慣化しておらず、利用率が低迷していると評価できる。28 年度からは大学設置のデスクトップ PC の台数が大幅に削減されたため、1 年生を中心とした共用プリンタ利用の習慣がつつきつつあり、今後はりようが伸びるものと期待している。

【課題】

学生個人ごとのプリンタ利用履歴を見ると、呉羽キャンパスの学生において紙のの利用枚数が著しく高い学生もおり、利用促進を呼びかけながらも紙を無駄に使用しないためのキャンペーンも必要となっている。

3) 図書館業務

【概要】

27 年度に検討し予算化を試みたラーニングコモンズ新設および AV コーナーのリニューアル化については、予算化が不如意となり実施できなかった。

図書館利用については、推薦図書の周知方法の工夫として図書館利用について教員との連携や、オリエンテーションなどでの告知などで、昨年に引き続き図書館の利用促進を図った。また東黒牧キャンパスと呉羽キャンパスの入館者数や貸し出し冊数の増加（最大冊数 5 冊）のための工夫により、東黒牧図書館における図書貸し出し数は 27 年度の 1099 冊／年から 1192 冊／年に増進した。しかし貸出者総数は 27 年度の 661 名に対して 625 名と減少し、一人当たりの貸出冊数が増加したことを反映した結果となった。

2. 学生支援部門（学生課、キャリア支援センター、国際交流センター）

本年度取り組んだ内容として東黒牧キャンパスにおいては、自然環境との共生の場にふさわしい緑化・花づくりなど心地よい環境づくりに加え、昨年に続き、学長裁量経費（学務部申請）の採択を受け、冬場の賑わい創出の一環として学友会と学務部関係教職員とが協働でクリスマス・イルミネーション、クリスマスツリーの設置を行うとともに、新企画としてハロウィンの飾り付けをして、構内での雰囲気を活気づけた。さらに、食堂のメニュー改善や文房具、お菓子販売などのミニ売店設置など学生にとって不可欠な生活環境の整備に取り組んだ。

呉羽キャンパスにおいては、自学自習できる設備環境を整え、クラブ・サークル活動でも昨年度より一層充実した活動ができるよう継続的に資金面で配慮した。ボランティア活動も年々広まりを得て、地域参加が増えている。

経済的な支援を要する学生への奨学金支援、諸活動入学生への文武両道精神の醸成として GPA(2.0 程度)の厳守と厳格な指導を心掛けた。さらに、富山国際大学らしいあり方として留学生との交流(チューター制度導入)を実施。学生の提案型事業である「夢への架け橋事業」については、平成 27 年度は 2 件で平成 28 年度は 6 件と応募が増加したが、応募情報等をもう少し早めに提供し、教職員と学生の協働体制を更に推進する必要がある。

豊かな学生生活を送るための支援活動として、学友会などの活動を教職員が積極的に支援し、大学行事であるスポーツ文化交流会、大学祭なども学生と教職員との連携によって行った。

現代社会学部・子ども育成学部とも自動車での通学学生が多いため、「学生の駐車指導」をはじめ、事故を未然に防ぐための「交通安全指導」について警察の協力を得て教職協働で注意喚起を図っている。特に、東黒牧キャンパスでは、平成 28 年度も学生と職員で交通安全キャンペーン活動を毎月 1 回継続して実施しており、東黒牧近辺で起きたかつての痛ましい事故の記憶を風化させない活動を今後も継続する予定である。

国際交流に関する支援では、現代社会学部の留学生へのケアや全学学生の留学をサポートしている。

キャリア支援に関しては現代社会学部、子ども育成学部ともに就職率 100%を達成した。また有力企業への採用の占める割合も金融関係、上場企業の占める割合が上がった。また平成 28 年度の傾向として、日本で就職を決める留学生の数が増えた。子ども育成学部でも、専門職である小学校教諭、保育・幼稚園教諭の採用が前年度水準を維持し、社会福祉士の合格率も全国で上位の合格率となっている。

平成 28 年度学務部事業については、四年生アンケートで特にキャリア関係の満足度が高い一方で、前年度よりやや低くなっている項目もある。スタッフ数の減少、職員の高齢化など、現在の配置では限界に達している。加えて、労働基準監督署から就業時間管理の指導を受け、学生対応と輻輳する大量の事務処理を就業時間内で完結することが困難となっており、それによる学生満足度の低下が懸念される。事務業務の省力化ばかりでなく、補助業務者の手当て等も含めた対策が喫緊の課題である。

以下は、学生系の主な自己点検評価の項目である。

1) 学生課業務

(1) 奨学金に関すること

富山国際大学奨学金、独立行政法人日本学生支援機構奨学金、富山第一銀行奨学財団奨学金、各県市町村関係の奨学金等の取り扱いをし、各奨学金の申請、継続、返還、異動の手続きや学習成績の報告を行う。

【実施計画】

経済的に困難な状況にある学生の修学継続を支援するため、本学独自の各種奨学金制度がある。日本学生支援機構奨学金、地方公共団体・財団等の奨学金についても、学生および保護者からの相談に応じ、適切な助言、受給に向けた対応にあたっている。本学独自の奨学金としては、経済的理由により学費等の納付が困難である者、成績優秀者、諸活動で成果を収めた者、海外留学者(半期)、外国人留学生を対象にした制度がある。奨励金として、学業成績または諸活動において前年度に著しく優秀な成果を収め、他の在学生の模範であると認められた 2 年次以上の学生に給付する制度である。

【評価と今後の課題】

昨年に引き続き、経済的に授業料が支払えない理由で相談が増加している状況であり、大学の奨学金については、一人でも多くと考え、予算内で定められている一人あたりの奨学金の額を減額して、対処している状況である。オリエンテーションで、学生に対して他の機関の奨学制度を情報提供して、大学生活ができるよう努力をしている。保護者との話し合いが少ないように感じられるので、保護者にも情報提供し、学生本人と相談しやすい環境を作っていく。

(2) イベント関係に関すること

大学祭、スポーツ文化交流会、富山県私学祭、卒業記念パーティー等を運営する学生の補助をする。

◆大学祭

【実施計画】

現代社会学部 平成 28 年 10 月 29 日(土)～30 日(日) 東黒牧キャンパス

子ども育成学部 平成28年10月21日(金)～23日(日)呉羽キャンパス

※ポスターは両学部で共通のポスターを作る

【評価と今後の課題】

現代社会学部については、平成26年より2週間遅らせて開催した。準備及び学内でのPRも順調に進み、運動部関係の大会が終了しており、運動系の学生参加者が増えた。しかし、地域住民との協力体制が弱く、次年度の課題であり、早めに話し合う場を設けて協力体制の強化を図る。子ども育成学部につきましては、富山短期大学と開催日が同時であり、中心的なステージを共同で使用また委員との話し合いにより詳細な事を決定している状況であり、大学として自由に出来ない部分もある。短大との強化を図る。

◆スポーツ文化交流会

【実施計画】

1. 目 的 スポーツ及び文化系競技等を通して、富山国際大学両キャンパスの学生（留学生を含む）及び教職員相互の親睦を図る。
2. 期 日 平成28年6月3日（金）
3. 会 場 富山国際大学東黒牧キャンパス
4. 参加者 現代社会学部1・2年（全員参加：教養演習出席振替）3～4年（自主参加）
子ども育成学部1・2年（全員参加） 3～4年（自主参加）不参加の3年の学生はボランティア活動等
職藝学院 全学生 （自主参加）参加者要事前申請 スポーツ系のみエントリー可
スポーツ系の各競技にチーム数の制限を設ける

【評価と今後の課題】

学生中心に計画を立て実施し、両学部の交流親睦を図るのが目的だが、両学部の打合せの時間が短すぎる事により学生同士の親睦時間が少なく、十分に図られていないのが現状である。準備中及び開催当日に学生同士が話し合える工夫が必要であると考えられる。準備段階より、学生だけで創意工夫をさせ、教職員が見届けるような体制にして、学生が自立して実施することにより、親睦が図られる。また、委員選出を早める工夫が求められる。

◆私学祭について

富山県私学祭

【実施計画】

私学の美術展

日時 平成28年11月26日（土）～28日（月）10時～17時（最終日は16時まで）

場所 富山県民会館 地下展示室

内容 私立幼稚園の園児、私立中学高校の生徒、私立大学・短期大学・専修・各種学校の学生による絵画、書等の芸術作品展示

【評価と今後の課題】

大学は文系であり、サークル及び個人的に活動している学生の作品であり、専門的な指導の下で作品を作成していない中、作品を提出している状況である。また、一般学生にも周知して参加を促すか検討する。

◆卒業記念パーティー

【実施計画】

平成28年度 第24回 富山国際大学卒業記念パーティー計画概要について

日時 平成29年3月17日（金） 受付 15:30～16:00

宴会 16:00～18:00

会場 ホテルグランテラス富山

主催 富山国際大学後援会 後援 富山国際大学同窓会

【評価と今後の課題】

昨年度より、学生の出席率が高くなり、年々出席率が良くなり盛大に実施することができた。計画・司会・進行した学生と学生課教職員でパーティー終了後、反省を実施し例年になくお互いの意見が多数出て活発な反省会となった。その中で、成功例・失敗例と個々に思っていることがあり、これを、次回の担当者に引き継いで行くことにより、年々良くなっていく。

(3) クラブ関係に関すること

クラブ・サークルの運営管理、クラブ・サークルの後援会予算管理等を行う。クラブ会総会開催の補助をする。

【実施計画】

平成 28 年度 クラブ会総会

日時 平成 29 年 3 月 3 日 (金) 10:00 場所 呉羽キャンパス E 館 404 号室

1. 平成 29 年度 クラブ会 会長等の選出について
2. クラブ活動について
 - ・部・サークル活動について
 - ・学生団体継続願い等について
 - ・施設（大学会館・体育館等）の利用について
 - ・各種届出について（遠征届・バス利用申請等）
3. 新入部員の勧誘について
4. 平成 29 年度 スポーツ文化交流会について
5. スポーツ安全保険について
6. その他

【評価と今後の課題】

ボート部女子シングルスカル競技において、全日本軽量級選手権・全日本選手権で 2 冠を達成した。今後他のクラブ活動において刺激しあい、相乗効果により各クラブ活動において成績向上に繋がっていけば良いと感じている。また、強化部及びサークルの学生確保が難しく、掛け持ちをして積極的に活動している学生もいるが、部・サークルに一人でも多く所属して、活気ある学生生活を送る様に、学友会・クラブ会が中心になって努力していく。

(4) 同窓会に関すること

同窓会報の発行業務。

【実施計画】

同窓会報は、年に 1 回発行。

【評価と今後の課題】

同窓会の行事が少ないため、記事内容にあまり変化がない。今後、同窓会と検討していく。
また、同窓会員が企画して作成するのが望ましい。

(5) 大学コンソーシアム富山に関すること

大学等リーダー研修会に関する業務。

【実施計画】

実施日時 平成28年6月18日（土）～6月19日（日）

実施場所 公益財団法人富山県体育協会 山野スポーツセンター

参加対象大学コンソーシアム富山 構成機関の学生会等所属学生◇参加状況参加者52名教員18名

富山国際大学 教職員2人 学生 7人

県内高等教育機関において、学生会やサークル等のリーダーとして活動する大学生等を対象に、リーダーシップ力・コミュニケーション力・企画力を高めるための研修を行い、リーダーとしての資質向上を図る。

また、各所属機関の枠を越えた研修により、参加学生間の交流・連携を深め、ひいては相互の主体的な活動による大学間等の連携の推進を目指す。

【評価と今後の課題】

他大学学生と交流が図れ、学生同士の刺激を受け、今後とも実施して欲しい事。また、大学に帰って個々にリーダーとして役割を果たすことに期待する。

(6) 夢への架け橋助成事業に関すること

夢への架け橋助成事業の募集告知、申請事業のヒアリング、学内審査会、助成金の交付、事業終了後の報告書管理を行う。

【実施計画】

募集期間：平成28年4月4日(月)～5月11日(水)【必着】

1 目的

この助成事業は、本学の学生の活力を生かすとともに、地域との連携を更に深め地域に貢献することにより、本学の活性化に資することを目的に、本学の学生から研究・活動等の事業計画を募集し、その事業の実施に対し本学が助成・支援を行う。

2 助成対象事業

本学に在学する個人又はグループで積極的に研究・活動等を行うものとし、以下に掲げる事業とします。

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| (1) 地域問題、国際問題に関する調査・研究事業 | (6) 地域活性化の調査・研究又は事業の実施 |
| (2) ベンチャー企業の創設に関する調査・研究事業 | (7) 国際的文化交流に関する活動 |
| (3) NPO活動事業 | (8) 各種創作活動 |
| (4) イベント計画・実施事業 | (9) その他本学の活性化に繋がると認められたもの |
| (5) ボランティア活動の計画・実施事業 | |

【評価と今後の課題】

昨年度は募集件数が2件と少なかったが、今年度は5件募集件数があった。オリエンテーション及びゼミ担当教員にもう少し早くPR強化をする。また、報告書の取りまとめについて締切日を守らないので、早急に提出するように管理する。

(7) 広報関係に関すること

年2回のコスモス通りの発行業務(内容案作成、原稿依頼、原稿収集、校正)を行う。

【実施計画】

74号 入学式(平成28年4月6日(水))に新入生の保護者に配布

2・3・4年生の保護者へは、後援会総会案内状に同封する

75号 平成28年9月中旬 保護者へは前期成績表の発送時に同封する

【評価と今後の課題】

年2回発行し、記事内容については年間を通してより内容を検討して実施した。今年度の記事内容を踏まえて、検討していく。マンネリ化をしない様にしていく。

(8) その他

◆平成27年度学生生活アンケート

【実施内容】

「平成28年度学生生活アンケート」の結果

後学期のオリエンテーション(9月末)に実施した「平成28年度学生生活アンケート」の目次の項目についてアンケート実施を行った。この結果を踏まえて、今後とも、学生の皆さんがより楽しく充実した大学生活を送れるよう、学習環境の改善に努めていきたいと考えている。

【評価と今後の課題】

データ分析をして、今後このデータを利用して学生生活の向上を図るため、毎年実施している。このデータを基に、改善していく。

◆学長賞等表彰について

【実施計画】

この一年間、本学の学生として著しく表彰に値する業績のあった者あるいは、文化、スポーツ、諸活動を通じ、特に優れた業績を修めた団体又は個人に対し、富山国際大学学則第38条及び同学生表彰要項に基づき表彰したので、別紙様式により候補者の推薦をされるよう、関係者をお願いし実施する。

【実施内容】

下記の学生表彰候補者が提出され、平成28年2月の学務委員会で審議し、2月の両教授会及び運営会議で審議し承認された。

※富山国際大学学生表彰規程細則に基づいて、行った。

【評価と今後の課題】

表彰は、3月の卒業式場で表彰されるが、6個人団体の推薦が提出され表彰することとなった。毎年表彰される団体が同じであり、他団体の活躍に期待したい。

2) キャリア支援センター

(1) 庶務業務に関すること

各種調査、卒業生進路状況作成、高校訪問資料作成(3回)、「採用のための大学案内」パンフレット作成、富山県財団法人ひとづくり財団助成、インターンシップ報告書作成、内定礼状作成・発送、年賀状作成・発送、卒業生アンケート調査、運営会議・教授会資料作成業務。

【実施計画】

- ①各種調査
- ②卒業生進路状況作成(800部作成予定)
- ③高校訪問資料作成(3回)
- ④「採用のための大学案内」パンフレット作成
- ⑤富山県財団法人ひとづくり財団助成、
- ⑥インターンシップ報告書作成
- ⑦内定礼状作成
- ⑧年賀状作成
- ⑨運営会議・教授会資料作成業務、

【実施内容】

- ①各種調査
- ②卒業生進路状況作成
- ③高校訪問資料作成(3回)
- ④「採用のための大学案内」パンフレット作成
- ⑤富山県財団法人ひとづくり財団助成、
- ⑥インターンシップ報告書作成、
- ⑦内定礼状作成
- ⑧年賀状作成、
- ⑨運営会議・教授会資料作成業務。

【評価と今後の課題】

期日厳守の作業が多く、作業工程及び役割分担の見直しが必要となっている。特に各種調査については、民間企業における調査が多く、内容は似ているが調査に時間が取られて、大学の業務に障害が起きないように、提出企業の見直しを図る。

(2) キャリア教育に関すること

【実施計画】

- ・現代社会学部におけるキャリア・デザイン講座(1年次必修)、キャリア教育(2年次)、インターンシップ(全学年選択)、キャリア支援講座(3年次必修)、就職試験対策講座の授業運営に関わる業務。
- ・尚、子ども育成学部では、キャリア入門講座(1年次)、キャリア支援講座Ⅰ(2年次)、キャリア支援講座Ⅱ(3年次)キャリア支援講座Ⅲ(4年次)、実習、インターンシップ等を独自に実施している。
- ・キャリア支援センター運営会議にて、1月から3月にかけて協議し決定する。

◆平成28年度 キャリア支援講座 アンケート集計

【評価と今後の課題】

- ・キャリア支援講座・子ども育成学部キャリア支援については、学生のアンケートを参考に毎年内容を変えている。
- ・キャリア・デザイン講座は、担当教員が毎年工夫(2年前から少人数・2クラスに分けて実施)をして内容変更しながら組み立てている。

(3) データ管理に関すること

【実施計画】

- ①卒業生就職先、在学生進路状況、企業データの管理。
- ②卒業生就職先
- ③在学生進路状況
- ④企業データの管理

【実施内容】

- ①卒業生データ管理
- ②卒業生アンケートデータも卒業生データに修正・加筆する(12月実施)
- ③在学生データ管理
 - ・進路登録カード
 - ・内定後の手続き
 - ・就職状況報告書
 - ・進路状況調査依頼

平成29年3月31日現在

平成28年度 富山国際大学 就職内定状況

単位:人

学部	性別	学生数	内休学者数	卒業 者数	就職希望者	内定者	内定率	未内定者	進学・留学 希望者	内進学・留 学決定者	進学も就職 もしない	卒業 延期者
現代社会	男	61	2	57	54	54	100.00%	0	2	2	1	2
	女	31	0	30	26	26	100.00%	0	2	2	2	1
	計	92	2	87	80	80	100.00%	0	4	4	3	3
子ども育成	男	19	0	19	18	18	100.00%	0	1	1	0	0
	女	71	0	70	66	66	100.00%	0	2	2	2	1
	計	90	0	89	84	84	100.00%	0	3	3	2	1
合 計	男	80	2	76	72	72	100.00%	0	3	3	1	2
	女	102	0	100	92	92	100.00%	0	4	4	4	2
	合計	182	2	176	164	164	100.00%	0	7	7	5	4

④企業データ管理

- ・求人票受付
- ・求人票に日付印を捺印
- ・県内求人・県外求人・共通県内求人・共通県外求人 に分けてナンバーリングする
- ・求人票データの入力(ホームページより求人票データが確認でき、地域、業種、職種検索等も可能)
- ・求人票一覧の作成
- ・求人一覧表を学部別にホームページにアップする
- ・掲示板に求人票の掲示
- ・企業ファイルに求人票を綴る(新規の場合はファイルを作成)
- ・会社説明会及び学外ガイダンスのポスター、チラシ等も随時掲示する

【評価と今後の課題】

求人票のデータ管理システムは複雑であり、業務的にロスが多いので、単純化を図る。

また、大学ホームページより、求人票を閲覧できるが、見ている学生が少ない。大学に送付(来校)される求人は大切にして、学生にPRし、情報の早急化を図る。

(4) キャリア支援センター行事に関すること

①「企業・事業所・大学講演会」について

【実施計画】

「企業・事業所・大学講演会」

日 時 : 平成28年11月18日(金) 16:00~19:00

場 所 : 富山電気ビルディング5階大ホール(富山市桜橋通り3番1号)

受 付 : 15:20から開始

【評価と今後の課題】

懇親会については、年々参加者が増えてきており今後は、アンケートを分析して、次回の改善に繋げる。

②「学内合同企業説明会」について

【実施計画】

「学内合同企業説明会」

1. 目 的 : 学生が「業界」や「業種」について研究し、企業の採用計画・採用試験日程などを採用担当から直接情報収集することで、以降の就職活動を円滑に行えるようにすることを目的とする。
2. 日 時 : 平成29年3月7日(火)・8日(水) [2日間] 13:20~16:00 (企業受付開始 12:30~)
3. 会 場 : 富山国際大学 東黒牧キャンパス 厚生棟
4. 方 式 : ブース形式による説明(1回あたり25分間の説明を5ローテーション実施)

5. 対象者：平成 29 年 3 月企業への就職希望者約名 100（子ども育成学部一部含む）

【実施内容】

- ・平成 29 年 3 月 8 日（水）（参加者企業 74 社、参加学生 88 人参加）
※ 1 人 5 社企業訪問をすることを指導
- ・平成 29 年 3 月 9 日（木）（参加者企業 75 社、参加学生 89 人参加）
※ 1 人 5 社企業訪問をすることを指導

【評価と今後の課題】

毎年実施している事業で、企業側からのアンケートを参考に少しずつ改善を図っている。例年より企業側と学生とが説明を聞く機会が多くなった。また、1 回の持ち時間を 30 分から 25 分に変更して、今年は迷いもなく以前より移動がスムーズに進んだ。事前に訪問する企業を記載させ絞り込ませた状態だったが、企業研究が十分になされていない状況で今後の課題である。また、企業より、1 回 20 分に変更して 5 企業から 6 企業訪問できる体制にして欲しい要望があり検討する。

（5）学生相談に関すること

【実施計画】

- ・カウンセラー・支援委員の来校日の調整及び保護者相談会に関する業務。
- ・学生個々には、求人票・ガイダンス情報の案内、送付状やお礼状の書き方指導等を行い、「進路登録カード」には相談内容や受験先・証明書発行先など就職活動状況を記載する。
- ・尚、子ども育成学部でも独自の学生相談業務を行っている。

【実施内容】

- ・学生の予約（予約表で管理する）
 - i. 原則週 5 日間実施し一人に対して 1 時間相談。
 - ii. 内容については、進路登録カードデータに記載し個人データとして共有する。最近、心の病の学生が増えてきているので、その様な学生は、相談回数が増える傾向にある。
 - iii. 予約の際は、カウンセラーと相談して、なるべく多くの学生が受けられるように配慮し相談受付をする。

【履歴書・エントリーシート・模擬面接指導】

- ・富山県職業安定所から、週 1 日（木曜日 午後から 3 時間）相談員が来て、企業情報や就職相談に来校
 - i. コーディネーターとして、キャリアカウンセラー資格者 1 人・元民間企業人事担当者 1 人来ていただき、相談（企業情報）・指導（履歴書・エントリーシート・模擬面接指導）をする。内容によっては、ゼミ担当、キャリアカウンセラーと情報交換しながら実施する。
 - ii. 事務職員は、学生がカウンターに来たら、相談（企業情報）・指導（履歴書・エントリーシート・模擬面接指導）をする。内容によっては、ゼミ担当、キャリアカウンセラーと情報交換しながら実施する。
 - iii. 3・4 年次生の学生を対象に、就職に苦勞をする学生の保護者をリストアップして、金曜日、土曜日を設定して、保護者相談会を実施。センター長と実施時期を相談して、臨機応変に実施する。（8 月）
 - iv. 該当保護者に開催通知発送 → 相談時間を調整 → 情報収集（専門学校・求人票等）
 - v. 総務課で、相談内容のアンケートを実施し、就職相談要望の保護者と面談する。（6 月）
 - vi. 学生課で、相談内容のアンケートを実施し、就職相談要望の保護者と面談する。（10 月）

【評価と今後の課題】

- ・学生が予約しても、無断で予約日に来ないケース数例あり、学生に連絡をするが、忘れていたとか、急にガイダンスが入った等の理由が返ってくるが、学生に対して社会的マナーに反しているのが、厳重に注意をしている。
- ・また、学生の性格を見て、数人の面接指導を受けた方が良かったと感じた学生には、その様に指導をしている。
- ・保護者の方と面談する事により、学生の見えなかった一面が見えてくるので、次回の学生対応に役立っている。

（6）企業訪問・新規開拓に関すること

【実施計画】

- ・就職先内定お礼訪問、新規開拓企業訪問を行う。
- ・就職状況報告書を参考に、内定した企業にお礼に行く。次年度の採用計画も聞いてくる。
- ・新規開拓・OBOG 内定企業

進路登録カードの希望企業を参考に、情報収集に行く。

- ・コーディネータ(民間企業人事経験者)企業開拓。
- ・緊急対応企業(内定辞退等)

基本的には、学生に謝りに行かせる。大学からも謝りに行く。

【実施内容】

- ・昨年度より、重複内々定をする学生が増えて、内々定を辞退した企業に対して事情説明をして謝罪しにしている。

(7) インターンシップに関すること

【実施内容】

- ① 受入先候補の決定および受入依頼は、富山県インターンシップ推進協議会の協力のもと、参加学生の希望に基づき、キャリア支援センターで行った。
今年度のインターンシップに参加した学生は、環境デザイン専攻8名、観光専攻9名、経営情報専攻26名の計43名である。マッチングが成立し、学生が研修を行った企業・機関等は、36にのぼる。そのうち6つの企業・機関には、各2名の受入れをしていただいた。
- ② 受入先と参加学生とのマッチングは、学生の希望に基づいて行ったが、希望に沿えなかった学生については、話し合い等により研修先を決定した。その結果、研修先を決定しました。その結果、最終的には学生の希望に応えられる業種・職種の受入先を確保することができました。
- ③ 受入先には、受入条件確認書記載の内容で依頼した。昼食費・通勤費等については、学生の自己負担としている。研修期間中の事故に対応するため、学生負担による「学研災・賠償責任保険」への加入も行っている。
- ④ 事前に、『覚書』(大学と受入先間)を締結し、受入先に対しては学生の『同意書』を提出した。

【評価と今後の課題】

富山県インターンシップ推進協議会で、インターンシップガイド(富山版)を作成し、来年度から参加する学生に配布することとなった。

(8) 研修プログラム

受入先の個別的事情を反映させるべく、研修プログラム(実習内容)の作成は、基本的には受入先に委ねている。ただし、過去に研修内容につき当該学生・大学からの要望提出や協議を望まれた研修先に対しては、可能な限り、その要請に応えるよう努めた。

【評価と今後の課題】

平成26年度より、インターンシップの該当年次を1年次(後期からの参加が望ましい)～4年次となり、研修生が一人でも多く参加し、就業意識を高めて欲しい。また、1dayインターンシップについては、今後参加学生が増える傾向であるので、保険等の確認をして参加させる。

(9) 大学コンソーシアム富山に関すること

富山県内7高等教育機関に所属する学生(主に3学年)を対象とした県内企業の訪問研修を立案・企画の実施(県事業)。

【実施計画】

①事業概要

本事業は、県内の7高等教育機関に在籍する学生が合同で県内企業等を訪問し、実際の就業現場を見、そこで働く方々の声を聞くことで県内企業等の魅力を知るとともに就業意識の向上をはかる。また、企業等を訪問するだけでなく、事前・事後学習を通して自らのキャリアデザインに主体的に取り組むことを目的とする。

事業名：大学コンソーシアム富山教育連携部会 合同企業訪問

実施機関名：公立大学法人 富山県立大学

開催日時

平成28年9月9日(金) 13時15分～17時

平成28年9月16日(金) 9時15分～17時

開催場所：富山県富山市五福3190番地

国立大学法人 富山大学 経済学部

参加人数

- ・合計 学生 176 名 教職員 14 名(富山国際大学 学生 71 名 教員 2 名)

【評価と今後の課題】

- ・昨年度より、ミーティング・訪問研修、2 ステップに変更し、学生の負担を軽減した。
- ・訪問研修の企業選定については、選定企業について、昨年度の反省を踏まえて、中小企業も入れて実施した。
- ・対象学年を1年生・2年生も含めて幅広く応募する事が決まったが、富山国際大学は、就職活動を踏まえ3年生対象として参加した。

3) 国際交流センター業務

(1) 海外教育機関との協定

① 新たに「2+2 協定」を締結した大学

- ・大邱韓医大学 H29. 1. 31
- ・鞍山師範学院 H28. 6. 6

② 新たな交流協定校

- ・大邱韓医大学 H29. 1. 31
- ・鞍山師範学院 H28. 6. 6
- ・レスブリッジ大学 (カナダ) H28. 10. 31

③ 協定更新大学

- ・ポーランド州立大学 (アメリカ) H28. 10. 24 ※授業料免除条項を新たに加えた。
- ・聖公会大学 (韓国) H28. 3. 1 交流協定の更新

④ その他の協定

- ・大邱大学と LINK 事業実施協定 H28. 5. 23
- ・南通大学との海外事務所協定及び開設 H28. 6. 3

(2) 海外拠点の開設

韓国の大邱市と中国の南通市に本学の海外拠点となる研究交流センターや海外事務所協定校に開設し、研究交流や学生交流、学生募集等に活用している。また、本学に其々の研究交流センター、海外事務所を開設した。韓国の大邱大学と双方に研究交流センターを開設した際には、双方が学長が訪問して記念講演を行っている。

- ・富山国際大学・大邱大学研究交流センター (韓国・大邱市)
- ・富山国際大学・南通大学杏林学院海外事務所 (中国・南通市)

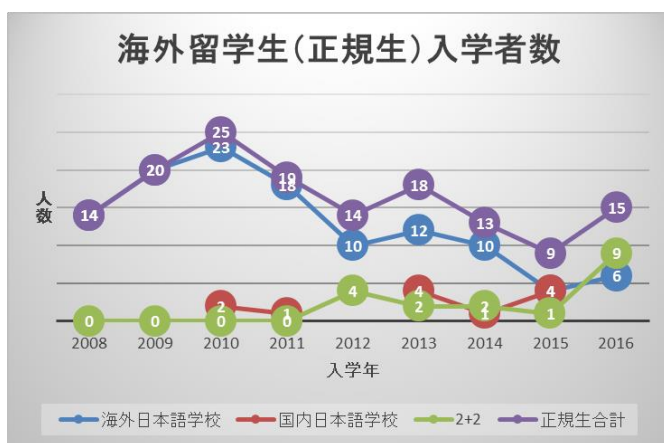
(3) 受入学生数 32 名

- ・学部新1生 6名 (天津社会科学院 5名、韓国・議政府女子高等学校) 1名
- ・学部編入生 9名 (大連海洋大学1名、南通大学4名、鞍山師範学院2名、ハルビン理工大学2名)
- ・交換留学生 14名 (大連海洋大学 5名、聖公会大学 1名、ウラジオストック経済サービス大学 1名、ファーイースタン大学2名、ハルビン理工大学2名、鞍山師範学院3名)
- ・研究生 3名 (大連海洋大学1名、ハルビン理工大学2名)

入学者数	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
海外日本語学校	14	20	23	18	10	12	10	4	6
国内日本語学校			2	1		4	1	4	
2+2	0	0	0	0	4	2	2	1	9
正規生合計	14	20	25	19	14	18	13	9	15
交換留学	17	17	14	15	17	15	10	9	14
研究生	0	8	7	7	0	8	5	0	3
受入留学生総数	31	45	46	41	31	41	28	18	32

※海外日本語学校には、海外の高校からの入学者も含む(韓国のハンド)

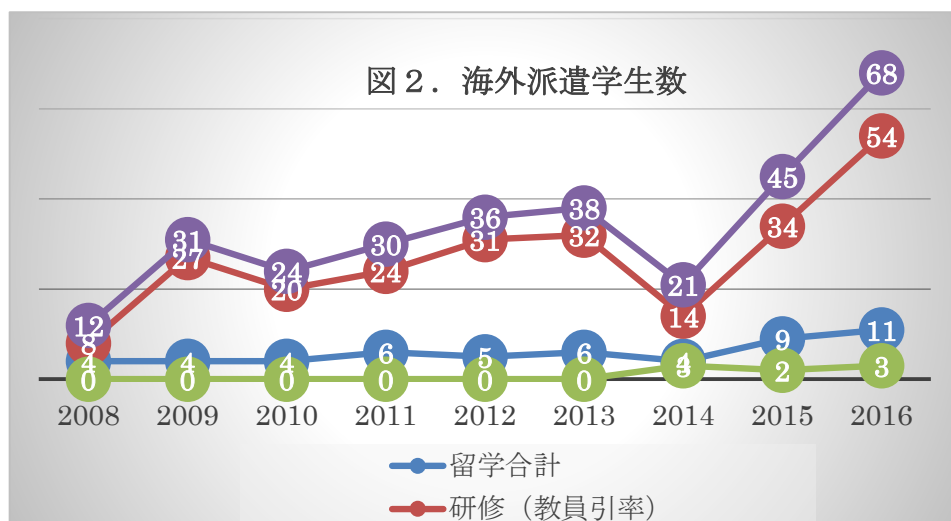
※国内日本語学校には、国内の非協定校からの留学生も含む



(4) 本学学生の海外派遣数 68 名

- ① インターナショナルプログラムズ(短期) 3 名
・ 5 週間 (オーストラリア 2 名、中国 2 週間 1 名)
- ② インターナショナルプログラムズ(長期) 8 名
(中国 1、ロシア 1、フランス 1、アメリカ 2、カナダ 1、オーストラリア 2)
- ③ 海外インターンシップ (バンコク・スリン) 2 週間 3 名
- ④ 異文化研修(中国 9 月 3 日～9 月 10 日 8 日間) 9 名
- ⑤ 異文化研修(韓国) 9 月 20 日～27 日 8 日間 5 名
- ⑥ 異文化研修(オーストラリア) 8 月 20 日～28 日 8 日間 6 名
- ⑦ 異文化研修(タイ) 8 月 27 日～9 月 17 日 22 日間 7 名
- ⑧ 国際交流実習 (タイ) 2 月 18 日～3 月 7 日 18 日間 5 名
- ⑨ 個人研修 (サモア) 2 月 10 日～3 月 16 日 34 日間 2 名
- ⑩ ゼミ研修 (韓国) 8 月 21 日～23 日 3 日間 3 名
- ⑪ 香港・マカオ 2 月 12 日～17 日 6 日間 6 名
- ⑫ 異文化研修(カナダ) 3 月 3 日～3 月 16 日 14 日間 11 名

両学部合計	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
留学(3ヶ月以上)	2	2	1	4	3	5	1	4	8
留学(1ヶ月程度)	2	2	3(2)	2(2)	2	1	3	5(2)	3(1)
留学合計	4	4	4(2)	6(2)	5	6	4	9(2)	11(1)
研修	8	27(1)	20(1)	24	31	32(8)	14	34(1)	54(11)
インターンシップ	0	0	0	0	0	0	3	2	3
派遣合計	12	31(1)	24(3)	30(2)	36	38(8)	21	45(3)	68(12)



(5) 国際交流に関するイベント・研修等への参加学生数

	事業名	期間 H28、29 年	参加者数
1	留学・海外研修プログラム説明会	4 月 27 日	45 名
2	とやまアースデイ・フェスティバル タイ山岳少数民族「ムラブリ族」への支援 活動を紹介	5 月 15 日	10 名
3	留学生のための就職説明会	6 月 8 日	14 名
4	サマースクール 2016 Part1	7 月 19 日～26 日	南通大学 12 ハルビン理工大 4 鞍山師範学院 4
5	グローバル融合基盤創業キャンプ	8 月 9 日～11 日	富山国際大学 8 名 富山県立大学 14 名 大邱大学 20 名
6	サマースクール 2016 Part2 「グリーンツーリズムの学び」	8 月 16 日～20 日	大邱大学 3 名 南通大学 1 名 富山国際大学 2 名
7	English Camp	9 月 25 日～27 日	現社 11、子ども 11
8	富山市国際交流フェスティバル 2016「留学 体験報告」	11 月 6 日	12 名
9	富山市女性の翼の会員とのひな祭りと文化 交流会 参加	2 月 25 日	現代社会学部 3 名
10	フィリピン学生との交流会開催 (JENISIS2016)	3 月 16 日～19 日	フィリピン大学生 22 名 富山国際大学生 8 名

(6) TOEIC に関して

学生の英語力を高めることを目的に、様々な取組みを行った。下記の(1)～(6)は取組み事項と其々の参加者人数を記している。

(1) TUINS TOEIC 講座 2016 東黒牧、呉羽キャンパスで各 10 回開催

下表は開催キャンパス、月日、出席学生人数を示している。

回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
東黒牧	6/15	6/17	6/17	7/8	7/13	7/22	11/16	11/30	12/7	12/14
人数	12	8	7	8	10	8	9	7	8	8
呉羽	6/8	6/10	6/24	6/29	7/20	7/20	11/17	12/1	12/5	12/15
人数	6	17	17	6	6	17	12	11	12	9

(2) ALC スマートラーニング (クラウド型 TOEIC 対策学習システム)

H28 年 5 月～H29 年 3 月 31 日 現社 20 名、子ども育成 20 名利用

(3) TOEIC 試験直前集中講座 (ALC 派遣講師) 実施

H29 年 3 月 20 日～24 日 現社 13 名、子ども育成 15 名参加

(4) 第 1 回 TOEIC IP テスト実施 H28 年 4 月 1 日 現社 12 名、子ども育成 18 名受験

(5) 第 2 回 TOEIC IP テスト実施 H28 年 10 月 15 日 現社 15 名、子ども育成 13 名受験

(7) チューター学生

日本人チューターは留学の日本語や授業支援などを行う。また、留学生チューターは、中国語や韓国語を

母国語とする留学生が、日本人受講生のサポートをし、語学力向上に貢献している。

前期 8名（日本人7名、留学生1名） 後期2名（日本人1名、留学生1名）

（8）SD・FD研修会開催

- ・語学力向上のためのSD研修会（英語） 9月27日 事務職員16名参加
- ・英語で授業を行うための学内FD研修会 7月7日 教員21名参加

（9）海外訪問団受け入れ

- ・大邱大学LINK事業 11月23日～11月25日 6名
- ・大邱大学洪総長一行来訪 H28年10月17-18日 3名
洪 徳律総長、本学学生に特別講演 100名参加
- ・王輝教授（遼寧師範大学）来訪、講演 H29年1月4日

（10）海外協定校との教員交流

- ① 南通大学郭講師を客員教授として招聘 H28年8月10日～29年1月6日
※日本語授業2科目担当
- ② 才田春夫現代社会学部教授を南通大学杏林学院客員教授として派遣
H29年3月20日～3月25日 ※6コマの日本語授業を担当

（11）外国語パンフレットの作成

英語版、中国語版のパンフレットを其々700部作成した。A5サイズで携行しやすく、海外の大学訪問や海外からの訪問団に大学を紹介する手頃なサイズと内容になっている。

（12）私立大学改革総合支援事業のグローバル化対応に選定される。

- ・クラウド型英語学習システムを導入し、全学生がインターネット接続環境下で自由に学習して英語力向上させる体制を整備した。これにより学生は自宅でも学内でも学習することが可能になった。英語の授業でも活用している。教職員についても英語のスキルアップ、国際化に対応できるよう、全員が自宅でも学内でも無料で利用可能とし、全学的にグローバル化への体制を整えた。

（13）成果と課題

- ① 海外協定大学は2校増え、8か国18校となった。更に増やす努力をしており、中国1大学とタイ1大学と話し合いを進めている。英語圏の協定校、しかも授業料免除になる大学を増やすべく努力している。英語圏の大学では、学部間の交換留学生の授業料相殺は出来ても、大学所属の英語教育機関とは授業料免除が過去に成立したことが無かった。しかし、アメリカのポートランド州立大学（PSU）と、10年間の学生交流の実績を基に、学部間に加えて英語教育機関とも授業料相殺の協定を締結した。

- ② 中国からの正規留学生の減少が著しく、2015年度以降は数名の確保に留まっている（表1）。人数の減少と共に質の低下も著しく、入学時に日常会話も覚束ない学生が目立ち、本学の評価を低下させることが危惧される。一方、編入生（ダブルディグリー）の確保に2年前から取り組んできた成果が、ようやく表れてきた。編入生は基礎学力も日本語レベルも高く、勉強熱心であることから、本学の質の向上に貢献してくれるものと期待している。このことから、今後は1年生の過度の入学促進を改め、編入生の安定的な確保に努力すべきと考えている。今後もダブルディグリー協定校を増やしていきたい。

サマースクールに参加した学生、教員の本学に対する評価が高く、編入生の入学に結びつく可能性を見出した。H28年度は、サマースクールを海外大学生向けオープンキャンパスと位置づけ、正規授業に参加する機会を設けた。サマースクールに参加した中国の国立大学学生数名が、帰国後に本学への交換留学生や編入生として入学している。こうした地道な努力、本学の魅力を知ってもらう機会をつくることで、学生確保のひとつの方法として有効であることが証明された。今後も努力したい。

- ③ 海外派遣学生数は2011年以降、やや増加傾向にあったが、2015年に急激な増加を示した（表2）。その要因は、現代社会学部の入学者の質の向上と景気回復傾向により、保護者の理解が進んだことが根底にある

と思われる。更に、留学奨励金の創設、日本学生支援機構（JASSO）の奨学金獲得、海外プログラムの充実化など、大学や教員側の努力も大きな要素である。H27 年度に異文化研修（タイ）と国際交流実習に参加した 18 名のうち、13 名が JASSO 奨学金（7 万円）受領者である。今後も、JASSO 奨学金が確保できるように、プログラムの充実に努力しなければならない。しかしながら 28 年度は前年度継続補助のみとなり新規事業の獲得が出来なかったため、特色的な海外教育プログラムを創り出す必要がある。

本学では 3 ヶ月以上 1 年未満の長期留学者に留学奨励支援金を支給している。28 年度は民間寄付による奨学金を用意することが出来た。英語圏へ 6 ヶ月以上留学する学生が対象だが、長期留学のインセンティブになるものと期待している。

- ④ 28 年度は学生の海外派遣促進やグローバル化に対応できる学生育成にと、英語強化プログラムを実施した。学生向けには TOEIC 対策授業を 2 つのキャンパスで隔週開講し、更に試験直前集中講座、英語で過ごす English Camp、韓国の大学生及び富山県立大学学生との 2 泊 3 日の 3 大学交流事業（高齢者・障害者支援システム等「スマート福祉」の構築に向けての英語によるグループワーク）、フィリピンの大学生らと英語での交流会などを行った。職員向けには英語力向上のための SD 研修会を、教員向けには英語で授業を行うための FD 研修会を開催し、大学全体として英語化、国際化の意識向上に努力してきた。こうした努力が実り、私学改革総合支援事業タイプ 4 グローバル化対応に選定された。それによって全学生及び全教職員が学内でも自宅からでも学習できる英語学習システムを導入し、更なる国際化の強化に向けた体制を構築した。こうした努力は継続して個々の能力を挙げるのが肝要で、今後、より一層の努力が必要である。

3. 基本情報

・平成28年度 在籍者数（平成28年5月1日現在）

平成28年度富山国際大学在学者数

H28.5.1現在

	学部	学科	総数	男女別数		県内外別数		男女県内外別数			
				男	女	県内	県外	男県内	女県内	男県外	女県外
1年生	現代社会	現代社会	95	60	35	73	22	50	23	10	12
	休学		0								
	子ども育成	子ども育成	91	21	70	85	6	17	68	4	2
	休学		2	1	1	2		1	1		
	合 計		186	81	105	158	28	67	91	14	14
	休学		2	1	1	2	0	1	1	0	0

	学部	学科	総数	男女別数		県内外別数		男女県内外別数			
				男	女	県内	県外	男県内	女県内	男県外	女県外
2年生	現代社会	現代社会	116	83	33	103	13	73	30	10	3
	休学		0								
	子ども育成	子ども育成	92	23	69	86	6	22	64	1	5
	休学		0								
	合 計		208	106	102	189	19	95	94	11	8
	休学		0	0	0	0	0	0	0	0	0

	学部	学科	総数	男女別数		県内外別数		男女県内外別数			
				男	女	県内	県外	男県内	女県内	男県外	女県外
3年生	現代社会	現代社会	107	76	31	85	22	65	20	11	11
	休学		0								
	子ども育成	子ども育成	102	28	74	96	6	26	70	2	4
	休学		0								
	合 計		209	104	105	181	28	91	90	13	15
	休学		0	0	0	0	0	0	0	0	0

	学部	学科	総数	男女別数		県内外別数		男女県内外別数			
				男	女	県内	県外	男県内	女県内	男県外	女県外
4年生	現代社会	現代社会	92	61	31	58	34	41	17	20	14
	休学		2	2			2			2	
	子ども育成	子ども育成	90	19	71	84	6	15	69	4	2
	休学		1		1	1			1		
	合 計		182	80	102	142	40	56	86	24	16
	休学		3	2	1	1	2	0	1	2	0

	学部	学科	総数	男女別数		県内外別数		男女県内外別数			
				男	女	県内	県外	男県内	女県内	男県外	女県外
全学年	現代社会	現代社会	410	280	130	319	91	229	90	51	40
	休学		2	2	0	0	2	0	0	2	0
	子ども育成	子ども育成	375	91	284	351	24	80	271	11	13
	休学		3	1	2	3	0	1	2	0	0
	合 計		785	371	414	670	115	309	361	62	53
	休学		5	3	2	3	2	1	2	2	0

※表内人数には交換留学生を含まない。

※合計には休学者数を含む

・平成 28 年度 退学者数等（平成 29 年 3 月 31 日現在）

《現代社会学部》

	1 年(28 年度)	2 年(27 年度)	3 年(26 年度)	4 年(25 年度)	計
入学者数	94	116	110	98	418
3 月末現在在籍者	92	112	99	84	387
留年者数	0	1	3	2	6
小計	92	113	102	96	393
退学者	2	3	8	12	25
退学率	2.1%	2.6%	7.3%	12.2%	6.0%

《子ども育成学部》

	1 年(28 年度)	2 年(27 年度)	3 年(26 年度)	4 年(25 年度)	計
入学者数	89	94	101	85	369
3 月末現在在籍者	88	92	98	83	361
留年者数	0	0	0	0	0
小計	88	92	98	83	361
退学者	1	2	3	2	8
退学率	1.1%	2.1%	3.0%	2.4%	2.2%

・平成 28 年度就職内定状況

平成 29 年 3 月 31 日現在

単位：人

学部	性別	学生数	内休学者数	卒業者数	就職希望者	内定者	内定率	未内定者	進学・留学希望者	内進学留学決定者	進学も就職もしない	卒業延期者
現代社会	男	61	2	57	54	54	100.0%	0	2	2	1	2
	女	31	0	30	26	26	100.0%	0	2	2	2	1
	計	92	2	87	80	80	100.0%	0	4	4	3	3
子ども育成	男	19	0	19	18	18	100.0%	0	1	1	0	0
	女	71	0	70	66	66	100.0%	0	2	2	2	1
	計	90	0	89	84	84	100.0%	0	3	3	2	1
合 計	男	80	2	76	72	72	100.0%	0	3	3	1	2
	女	102	0	100	92	92	100.0%	0	4	4	4	2
	合計	182	2	176	164	164	100.0%	0	7	7	5	4

・平成 28 年度図書館基本情報

【貸出冊数】

＜東黒牧キャンパス＞

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大学生	冊数	64	101	114	73	62	18	98	98	96	200	36	16	976
	人数	33	55	54	45	29	10	55	55	52	100	18	5	511
研究生	冊数							3	11	8	1	1		24
	人数							3	5	4	1	1		14
聴講生	冊数													0
	人数													0
大学教員	冊数	6	6	12	4		12	10	3	12	17		9	91
	人数	2	3	6	2		7	3	2	4	7		2	38
非常勤講師	冊数													0
	人数													0
職員	冊数		1		2				3	1	1			8
	人数		1		1				1	1	1			5
臨時職員	冊数	2	9	11	13	6	18	10		2	4		2	77
	人数	2	6	5	8	5	10	7		1	3		1	48
学外者	冊数	5					3	5	1				2	16
	人数	2					2	3	1				1	9
計	冊数	77	117	137	92	68	51	126	116	119	223	37	29	1192
	人数	39	65	65	56	34	29	71	64	62	112	19	9	625

＜呉羽キャンパス＞ 短大図書館利用者を含む

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大学生	冊数	198	360	309	349	209	89	366	509	409	274	126	40	3,238
	人数	100	186	163	196	83	41	201	239	206	135	66	17	1,633
短大生	冊数	180	357	494	447	175	81	335	226	176	160	72	30	2,733
	人数	108	231	300	267	70	40	177	131	112	87	31	16	1,570
大学教員	冊数	8	8	7	9	9	5	5	30	4	10	25	9	129
	人数	2	4	1	3	4	4	2	8	2	4	5	4	43
非常勤講師	冊数	27	24	29	44	31	17	24	35	31	17	31	23	333
	人数	15	13	18	17	11	8	13	19	20	13	15	11	173
高校専任教員	冊数				1						2	2	3	8
	人数				1						2	2	3	8
短大教員	冊数	26	17	32	44	31	36	42	28	37	24	49	20	386
	人数	12	8	17	24	13	15	20	16	16	15	19	12	187
職員	冊数	24	24	35	27	56	30	41	37	36	29	24	13	376
	人数	14	10	22	16	27	23	26	21	21	21	17	11	229
幼稚園	冊数					4								4
	人数					1								1
学外者	冊数	6		37	9	8	7	5	20	3	3	6	5	109
	人数	2	1	15	3	4	3	2	8	1	1	2	2	44
合計	冊数	469	790	943	930	523	265	818	885	696	519	335	143	7,316
	人数	253	453	536	527	213	134	441	442	378	278	157	76	3,888

【入館者数及び開館日数】 ＜東黒牧キャンパス＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入館者数	2,424	1,901	1,735	1,735	927	407	1,703	1,479	1,547	1,424	664	141	16,087
開館日数	20	19	21	20	20	20	20	20	18	18	20	21	237
1日平均	121.2	100.1	82.6	86.8	46.4	20.4	85.2	74.0	85.9	79.1	33.2	6.7	67.9

Ⅱ. 委員会・部会（評価・課題）

1. 学務委員会

（1）学務委員会

【目標】

富山国際大学学務委員会規程第2条に規定する審議内容のうち、平成28年度は次の事項を積極的に推進するとともに、Webシラバスの構築や副専攻プログラムの制定、リメディアル教育の推進を目標とする。

- ① 教育課程及び授業方法の改善、シラバスなどの改善について
- ② FD（ファカルティ・デベロップメント）の実施
- ③ 学生による剽窃行為の防止について
- ④ 奨学金制度の改善について
- ⑤ GPA数値の活用について
- ⑥ 授業外活動、諸活動活性化について
- ⑦ 広報誌「コスモス通り」やホームページ等による学生生活の広報について
- ⑧ その他、年度内に教学・学生系業務で決定しなければならない案件処理について

【実施内容】

・構成メンバー：

大谷学務部長、村上学務部次長、佐藤(悦)教授、川本教授、佐藤(綾)准教授、大藪准教授、大平講師、竹田講師、南呉羽キャンパス事務室事務長、岩木学生課長、酒井教務課長、石黒係長（以上12名）

・会議内容

開催日時・場所・出欠	審議事項	報告事項
平成28年4月8日（金） 14:30～16:10 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席：11名 欠席：1名	1. 学生の退学・休学・除籍について 2. 編入学生の単位認定について 3. 平成28年度大学教育再生加速プログラム「高大接続改革推進事業」について 4. 科目コード（ナンバリング）について 5. Webシラバスについて 6. スポーツ文化交流会について 7. 富山国際大学と富山市選挙管理委員会との連携について 8. その他	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他
平成28年5月2日（金） 14:50～16:45 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席：12名 欠席：0名	1. スポーツ文化・交流会について 2. 富山県青年会議所の議員選出について 3. 学生団体結成願について 4. 平成29年度学年暦（案）について 5. 既修得単位認定申請書様式（案）について 6. その他	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他
平成28年6月1日（火） 13:10～15:00 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席：12名 欠席：0名	1. 第1種奨学金・奨励金について 2. 「夢の架け橋」助成事業について 3. 学生団体結成願について 4. 授業評価アンケート、学生生活アンケートについて 5. 平成29年度学年暦について 6. その他	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他
平成28年7月6日（水） 15:20～15:20 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席：12名 欠席：0名	1. 平成28年度私立大学等改革総合支援事業について 2. 授業評価アンケート、学生生活アンケートについて 3. 修得単位認定申請書について 4. 学生団体結成願について	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他

	5. 平成 28 年熊本地震に伴う学生納付金の減免措置について 6. 障害を理由とする差別解消の推進に関する対応について 7. その他	
平成 28 年 8 月 3 日 (水) 13:10~14:15 東黒牧 C・呉羽 C Web 会議 出席: 12 名 欠席: 0 名	1. 学則の一部変更について 2. 平成 29 年度学年暦について 3. 今後の学務運営に関する諸課題について 4. その他	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他
平成 28 年 8 月 31 日 (水) 9:30~11:20 東黒牧 C・呉羽 C Web 会議 出席: 11 名 欠席: 1 名	1. 9 月卒業・後期入学について 2. 学生の学籍異動について 3. 学生の処分について 4. 学生の不正行為にかかる取扱規程について 5. 第 2 種奨学金・奨励金について 6. 科目等履修生について 7. 学務部アクションプランについて 8. 後期オリエンテーションについて 9. 副専攻プログラムに関する規程について 10. Web シラバス構築・導入について 11. 「大学等に通学する障害者に対する支援モデル事業」に係る調査について 12. その他	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他
平成 28 年 10 月 5 日 (水) 13:10~14:15 東黒牧 C・呉羽 C Web 会議 出席: 11 名 欠席: 1 名	1. 学則の一部改正 (案) について 2. 2+2 入学生の成績認定について 3. 第 2 種奨学金・奨励金について 4. その他	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他
平成 28 年 11 月 2 日 (水) 13:10~14:50 東黒牧 C・呉羽 C Web 会議 出席: 12 名 欠席: 0 名	1. 学生の学籍異動について 2. 学則の一部改正 (案) について 3. 不正行為にかかる取扱規程 (案) について 4. 成績不服申立て等について 5. COC+関連事業について 6. 学生団体結成願について 7. その他	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他
平成 28 年 12 月 7 日 (水) 13:10~15:25 東黒牧 C・呉羽 C Web 会議 出席: 12 名 (代理 1 名) 欠席: 0 名	1. 平成 29 年度研究生、科目等履修生募集要項について 2. 不正行為にかかる取扱規程 (案) について 3. 副専攻プログラムについて 4. 学生団体結成願について 5. COC+事業推進事項について 6. その他	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他
平成 29 年 1 月 6 日 (水) 15:55~17:50 東黒牧 C・呉羽 C Web 会議 出席: 12 名 欠席: 0 名	1. 学生の学籍異動について 2. 平成 29 年度学年暦 (案) について 3. 不正行為にかかる取扱規程 (案) について 4. とやま地域創生人材育成プログラムにかかる規程 (案) について 5. 市民聴講生募集要項及び大学コンソーシアム富山単位互換科目について 6. 平成 29 年度学生便覧編集方針 (案) につ	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他

	いて 7. その他	
平成 29 年 1 月 31 日 (火) 12:10~13:50 東黒牧 C・呉羽 C Web 会議 出席：11 名 欠席：1 名	1. 学生の学籍異動について 2. 履修に関する規程・細則の一部改正について 3. 障害を理由とする差別の解消の推進に関する教職員対応要領（案）について 4. 学長賞推薦について 5. 学期末定期試験、追再試験の別室受験にかかる申し合わせ（案）について 6. その他	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他
平成 29 年 3 月 2 日 (火) 13:10~14:35 東黒牧 C・呉羽 C Web 会議 出席：11 名 欠席：1 名	1. 学生の学籍異動について 2. 平成 28 年度卒業判定及び卒業生代表について 3. 3 年次進級判定について 4. インターナショナルプログラムズ単位認定について 5. 平成 29 年度前期オリエンテーションについて 6. 市民聴講生用対象科目及び大学コンソーシアム富山単位互換科目について 7. 「夢への架け橋助成事業」について 8. 学生団体解散届について 9. 平成 28 年度学務部自己点検評価報告書の担当について 10. その他	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他
平成 29 年 3 月 29 日 (水) 13:10~14:45 東黒牧 C 本部棟 2 階 大会議室 出席：14 名 欠席：0 名 (平成 29 年度委員も出席)	1. 第 2 種奨学金について 2. 学生の学籍異動について（追認等） 3. 平成 30 (2018) 年度入学式・卒業式について 4. 平成 29 (2017) 年度全学学務委員会委員担当業務・開催日程について 5. その他	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他

【評価】

本年度は、通常の学務系アクションプランにおいて引き続き検討中のもの、新たに Web シラバスシステム構築・稼働や副専攻プログラムの制定、リメディアル教育における e-ラーニングの導入までを、本委員会で情報共有することができ、概ね形にすることができた。

特に、副専攻プログラムでは、グローバル人材育成プログラム・地域創生人材育成プログラムの 2 本立ての内容について、共通認識を図ることができ、次年度に向けて運用する体制を整えることができた。

また、導入する Web シラバスシステムにおいては、システムの不具合等があり、新年度において稼働しつつ改善を図る結果となった。さらに、ラーニングコモンズ化にかかる備品購入の予算計上はしたものの、外部資金の獲得ができなかったため、結果的に実施できなかった。

COC 事業も包含する副専攻プログラムも含めて本格的な実施に向け、本委員会でも共通認識を持った。

【課題】

今後は、通常の学務系業務をより積極的に改善して推進できるように委員の中で情報共有していくが、本年度で形にした Web シラバスシステムや副専攻プログラムの運営について、システム内の課題やプログラム内容の改善などの課題があるため、それらの課題をいかに解消していくかである。

また、COC 事業に絡む教育改善等も、本委員会でもより一層情報共有を行い、従来の教育改善課題と融合させて解決していく。

(2) 教養教育検討部会

【目標】

平成 28 年度は、27 年度に引き続きアクションプラン「1-(1)-① 教養科目の中に「共存・共生へのアプローチ」科目群及び「時代の潮流へのアプローチ」科目群を設け、科目群の趣旨に沿って、それぞれの科目の内容の充実を行う。」と「1-(1)-② 必修教養科目の中で、「富山国際大学の歴史と基本理念」についての講義時間を確保し、自校教育を開始する。」、またアクションプランに記載されている「リメディアル教育のための支援体制」に基づき次の目標を設定した。

①教養科目の検証

平成 28 年 3 月 31 日付けで学校教育施行規則の一部改正により AP・CP・DP が義務化されたのを踏まえ、今後本学内でも AP・CP・DP が見直されることから、それに併せて教養科目の体系化等についても検証を行う。また、各学部で至急 CP・DP 作成を行う。

②自校教育を実施する。

③両学部共通科目について

引き続き科目設置できるか検討する。なお、共通科目を目指し平成 28 年度に新設した現代社会学部の「教養特別講座」については、できるだけ両学部の学生が受講できるようにする。

④リメディアル教育について

本学のアクションプランに記載されているリメディアル教育のための支援体制等について結論が出ていないため、本部会内で素案を作成する。

【実施内容】

・構成メンバー

佐藤(悦)教授(部会長)、大谷学務部長、村上学務部次長、大平講師、南呉羽キャンパス事務長、酒井教務課長、石黒教務課係長

・会議内容

開催日時・場所・出欠	協議事項	備考
平成 28 年 6 月 28 日(月) 9:00～9:45 東黒牧 C・呉羽 C Web 会議 出席：6 名、欠席：1 名	1. 2016 年度の教養教育について (1) アクションプランについて (2) 両学部共通の教養科目の設置について (3) 初年次教育について (4) リメディアル教育について 2. その他	
平成 28 年 8 月 31 日(水) 11:30～11:45 東黒牧 C・呉羽 C Web 会議 出席：7 名 欠席：無し	1. 2016 年度の教養教育について (1) 教養教育に関するアクションプラン内容について 2. その他	
平成 28 年 11 月 2 日(水) 14:45～15:15 東黒牧 C・呉羽 C Web 会議 出席：6 名、欠席者：1 名	1. 今後の教養教育について (1) e-learning の実施について 2. その他	
平成 29 年 3 月 29 日(水) 15:10～15:40 出席：9 名	1. 今後の教養科目について (1) e-learning の実施について 2. その他	

【実績】

●目標①について

各学部の CP、DP を作成した。

●目標②について

次の通り各学部で自校教育を実施した。

- 現代社会学部
 - ・実施科目：現代社会概論（10:40～12:10）
 - ・実施日：第1回 4月21日（木）中島学長「大学で学ぶとは」
 - 第2回 4月28日（木）三四五建築研究所 代表 稲葉 実氏
「富山国際大学の建学と社会の要請」
- 子ども育成学部
 - ・実施科目：教養演習（9:10～10:40）※1年生のみ対象
 - ・実施日：第1回 4月27日（水）中島学長「富山国際大学の歴史と基本理念」
 - 第2回 5月11日（水）大藪先生「「教養」をめぐる学園の
建学の精神と大学の基本理念」

●目標③について

平成28年12月10日（土）、平成29年2月10日（金）、平成29年2月11日（土）、平成29年2月13日（月）、平成29年2月14日（火）の4日の集中講義として実施した。

受講者は、現代社会学部の学生18名ならびに外部からの聴講生を合わせると23名であった。

●目標④について

リメディアル教育をe-learningで行うことを検討し、平成29年度から「LINES ドリス・SPI」を導入することとなった。

【課題】

（1）目標①に関する課題

教養教育の体系化に関しては、引き続き検討を行う。

（2）目標②に関する課題

自校教育にかかる外部講師を次年度に招聘する場合は、大学開学当初の諸々の状況を知っている方に講義を打診する。また、講義可能な教員がいる場合は、その教員に打診する。

（3）目標③に関する課題

「教養特別講座」を実施したが、今後両学部の受講者を増やすため、講義内容の再検討ならびに両キャンパスを結ぶ遠隔講義で実施することも検討する。

（4）目標④に関する課題

「LINES ドリス・SPI」を導入することが決まったが、今後教員や学生への周知を徹底し、より学生が有効に活用できるような仕組みをつくる必要がある。

（3）FD推進部会

【目標】

全国の学務系動向が理解できる研修会に参加し、その出張報告会を中心に全学的FD研修会を実施することで、全学的なFD活動への意識や成果を高める。

【実施内容】

- ・構成メンバー：村上教授（部会長）、大谷学務部長、川本教授、南呉羽キャンパス事務長、酒井教務課長、石黒係長
- ・会議内容

開催日時・場所・出欠	協議事項	備考
平成28年6月28日（火） 9:45～10:20 東黒牧C・呉羽C Web 会議 出席：5名 欠席：1名	1. 2016年度の全学FD研修会について 2. その他	
平成28年8月31日（水） 11:45～12:10 東黒牧C・呉羽C Web 会議 出席：6名（0名含む） 欠席：1名	1. 2016年度の全学FD研修会について (1) 3月開催の実施内容について (2) 今後のFD研修の在り方について 2. その他	

平成 28 年 11 月 2 日 (水) 15:20～15:30 東黒牧 C・呉羽 C Web 会議 出席：6 名 (Ob1 名含) 欠席：1 名	1.2016 年度の全学 FD 研修会について (1) 3 月開催の実施内容について 2. その他	
平成 29 年 3 月 29 日 (水) 15:40～16:10 東黒牧 C・呉羽 C Web 会議 出席：7 名 (Ob1 名含) 欠席：0 名	1. 2016 年度 FD 研修会及び 2017 年 FD 研修会について 2. その他	

・研修内容

開催日時・場所・出欠	実施内容
平成 28 年 7 月 7 日 (木) 16:30～18:00 東黒牧 C AL 室 呉羽 C E406 室 【教員参加率：65.0%】 教員出席：26 名 欠席：14 名 (現社：16 名、子ども 10 名) ※教員のみ参加	本学の国際化推進の一環として、近年国内で増加している英語による正課科目の授業実践について学ぶ。 講師：James Porcaro 本学元教授 1) 講義：英語で授業を行うためのポイント (20 分) 2) 模擬授業：“Introducing Africa” (約 50 分) 3) 質疑応答 (15 分)
平成 29 年 3 月 1 日 (水) 13:00～16:00 東黒牧 C 301 室 呉羽 C E406 室 【教員参加率：90.0%】 教員出席：36 名 欠席：4 名 (現社：17 名、子ども 19 名) 職員出席：20 名 欠席 5 名	平成 28 (2016) 年度富山国際大学 FD・SD 研修会 1. 日本私立大学協会教務部課長相当者研修会報告、及び日本学生支援機構実務者育成研修会概要報告 【報告Ⅰ】全体報告・分科会報告 (大谷孝行 学務部長) 【報告Ⅱ】平成 28 年度障害学生支援実務者育成研修会 (基礎プログラム) 概要報告 (南佳克・呉羽キャンパス事務室事務長) 2. 「発達障害の理解と支援について」 【講師】富山大学人間発達科学部附属特別支援学校 教諭 柳川 公三子 氏

【評価】

本年度の研修会も、全国の私立大学等の動向、事例を踏まえ、今後の本学の教育改革にどう繋げ、どう実現すればよいかを考察することを念頭に、今回は「発達障害学生への対応」をメインに研修を行った。発達障害学生への具体的対応の仕方などの活発な意見交換があった。また、別途教員の英語での教育指導研修も行い、今後の教育方法等の情報共有の場となり大変有意義な研修会となった。

【課題】

平成 29 年度も、参加率高める内容にしていきたい。

(4) 教職課程委員会

【目標】

教育職員免許状取得の所要資格を得させるために必要な本学の教職課程の運営について審議し、教職課程の履修と実習実施に向けた資格ごとの計画立案・事前事後指導、及び履修科目の単位認定を円滑に実施させることを目標とする。全学学務委員会の下部組織として位置づけられている。

【実施内容】

・構成メンバー

水上委員長、辻井教授、仲井教授、福島教授、彼谷教授、村上教授、吉田准教授、石倉准教授、南呉羽キャンパス事務長、酒井教務課長

・会議内容

開催日時・場所・出欠	協議事項	備考
平成 28 年 10 月 17 日 (月)	1. 履修カルテについて	

13:10～14:40 呉羽キャンパス E203 会議室 出席：9 名，欠席：1 名	2. 教育実習の総括について (1) 小学校教諭分野報告 (2) 幼稚園教諭分野報告 (3) 実習に関する SNS への掲載について (4) 実習にかかわるアルバイトについて 3. 教職課程に係る情報公開について 4. その他	
平成 28 年 12 月 26 日(月) 9:15～9:55 両キャンパス Web 会議 出席：8 名，欠席：2 名	1. 平成 28 年度教職課程認定申請に関する事務担当者説明会の報告について 2. 教職課程に関する情報公開について 3. 教職課程認定申請について 4. その他	
平成 29 年 3 月 22 日(水) 16:30～17:25 呉羽キャンパス E203 会議室 出席：10 名，欠席：0 名	1. 平成 28 年度教職課程委員会総括について 2. 教員養成施策の動向と対応について 3. その他	

【評価】

平成 28 年度の公立小学校教諭の就職については、現役生で初の 10 名越え（12 名）となり、学部起ち上げから総計 50 名を超える教諭を送り出したことになる。

免許取得に関しては、小学校教諭一種免許状取得者 48 名、幼稚園教諭一種免許状取得者 63 名と、概ね取得希望者の希望に添った結果を得ることができた。

【課題】

小免許取得者は毎年増加しており、教員としての資質、力量が不足している学生の増加も否定できない。実際に、平成 28 年度は小学校教育実習に 65 名参加（前年の 1.5 倍）であったが、例年より評価が低い結果であり、来年度は 70 名の見込みがある。幼免許取得者も入学者数の割合で見ると 80 名を超える見込みである。今後、小学校教諭養成に関しては模擬授業の形式や母校実習のあり方を、幼稚園・保育教諭養成も含めた課題としては、新たな実習協力校の開拓や継続的に教育実習の経験を蓄積できる体制づくりが必要である。履修カルテ等も活用しながら、質保障につながる工夫した指導を検討したい。

平成 28 年度の就職については、公立小学校教諭 18 名（既卒者 6 名含む）、公立小学校臨時的任用講師 16 名、幼稚園教諭 3 名、保育教諭 2 名の就職となったが、養成から採用後の数年間、どのようにして教師力を向上させていくかが課題である。

なお、平成 29 年度は再課程認定、認証評価等、業務スケジュールが厳しくなることが予想されるが、文部科学省の施策の動向を注視しながら、その都度対応を図るための会議を開催していく必要がある。

2. 図書館委員会

【実施計画】

図書館委員会規程に基づき、重要案件を審議する。

【実施内容】

・構成メンバー

上坂委員、後藤委員、小西委員、仲井委員、大藪委員、松山委員、高尾委員、
酒井教務課長、石黒係長、市六主査

・会議内容

開催日時・場所・出欠	協議・報告事項
平成 28 年 10 月 28 日（金） 17:00～18:00 東黒牧 C・呉羽 C Web 会議 出席：10 名 欠席：0 名	第 1 回図書館委員会 1. 平成 28 年度富山国際大学紀要について 2. 平成 28 年度末の図書購入締め切りについて 3. 図書の除籍について
平成 29 年 3 月 10 日（金）	第 2 回図書館委員会

14:00～14:40 東黒牧C・呉羽C Web 会議 出席：7名 欠席：1名	1. 平成 28 年度富山国際大学紀要の投稿状況について 2. 平成 29 年度図書館予算について 3. 平成 29 年度前期選定図書について 4. その他 図書館利用案内の富山短大との共同制作について
---	---

【評価】

昨年度は年に 4 回の委員会を開催したが、28 年度は委員のスケジュール調整が極めて困難な状況が続き、委員会を計 2 回として。いっぽうでメールを利用して委員間の意見交換を進め、できるだけ集合会議を減らすことで乗り切った。図書館の収容スペース狭小化についてはできる部分からの除籍を実施した。さらに次年度には、書架に未収納の書籍について別に部屋を設けて収納するための準備を行った。

紀要の作成にあたっては、図書館運営委員会と併せて紀要編集委員会を実施し、募集から試読、リバイス、編集、発行までの一連の作業を実施した。今年度は現代社会学部で論文 10 編、研究ノート 5 編、子ども育成学部で論文 9 編、研究ノート 3 編が掲載された。

【課題】

図書館の利用促進については一朝一夕で結果がでるものではなく、今後も引き続き改善策を検討する必要がある。また図書館（書庫および事務室）の収容スペース狭小化についても対策が必要であり、具体策の実施が必要である。

3. 情報センター運営委員会

【実施計画】

情報センター規程に基づき、年度当初、および予算策定期の 2 回、情報センター運営委員会を実施し、センター運営について協議する。

【実施内容】

・構成メンバー

上坂センター長、大谷教授、吉田准教授、高尾准教授、堀江准教授、酒井教務課長、水野教務課主査、宮森情報センター員

・会議内容

開催日時・場所・出欠	協議事項
平成 28 年 6 月 24 日(金) 10:50～12:10 東黒牧キャンパス(430 室) 呉羽キャンパス(会議室) 出席：6 名 欠席：1 名	1. 平成 28 年度予算の報告 2. 平成 28 年度特別事業：無線 LAN 設備拡充事業実施に関する検討 3. 平成 28 年度特別事業：ファイルサーバ領域増大化実施に関する検討 4. その他検討事項
平成 28 年 9 月 13 日(火) 17:00～17:50 東黒牧キャンパス(430 室) 呉羽キャンパス(会議室) 出席：5 名 欠席：2 名	1. コンピュータ室の再整備事業実施に関する検討 2. 無線 LAN 設備拡充事業実施に関する検討 3. ファイルサーバ領域増大化実施に関する検討 4. その他検討事項
平成 28 年 11 月 16 日(水) 16:30～17:50 東黒牧キャンパス(430 室) 呉羽キャンパス(会議室) 出席：6 名 欠席：1 名	1. ファイルサーバ領域増大化事業進捗報告 2. コンピュータ室の再整備事業進捗報告 3. 無線 LAN 設備拡充事業進捗報告 4. 平成 29 年度運営事業の詳細 5. プリントサーバシステム維持費の検討 6. 平成 29 年度特別事業：呉羽キャンパスネットワークシステム更新（基幹・ノードスイッチングハブ入替）事業に関する検討 7. その他検討事項
平成 29 年 3 月 24 日(金) 10:30～12:20 東黒牧キャンパス(430 室)	1. 呉羽キャンパス間ネットワークの調査に関する報告 2. 平成 28 年度運営事業に関する報告 3. Office365 アカウントの処理報告

呉羽キャンパス(会議室) 出席：6名 欠席：1名	4. 印刷システム使用状況 5. 平成28年度特別事業に関する報告（前委員会以降） 6. 平成29年度事業 予算承認に関する報告 7. Windows Vista サポート終了 8. その他検討事項
-----------------------------	---

【評価】

情報センター運営委員会を年4回実施し、センター運営について一般教員と協議する頻度を充実した。

サーバシステム、ネットワーク環境、プリンタ等の環境変化について討議し、従来の運用内容については情報センター担当業務を着実に果たし、問題なく運用されている事が確認された。

呉羽キャンパスにおける学生・教職員へのサポート体制強化の要望が呉羽キャンパスよりあげられ、情報センターから週に1日の出張サービスを実施してきた。これによって呉羽キャンパスにおけるネットワーク接続に関する問題点も明らかとなり、29年度に向けて解決策を検討することが課題となっている。

子ども育成学部の「情報処理演習」授業担当教員が非常勤講師となったことに対する、学生へのサポート低下に対しても、呉羽事務室と連携し、予約による出張サポートを、急を要する場合は、電話やメールによるサポートを実施している。

【課題】

上述のとおり、呉羽キャンパスから東黒牧のファイルサーバへのアクセス速度が極端に悪化する現象が明確となり、早急な解決が求められている。

4. キャリア支援センター運営会議

【実施計画】

キャリア支援センターに関する諸問題について検討することを目的とし、原則として毎月1回開催する。

【実施内容】

- ・構成メンバー：村瀬センター長（現代社会学部）、彼谷センター次長（子ども育成学部）
大西委員（現代社会学部）、後藤委員（現代社会学部）、秦野委員（現代社会学部）
室林委員（子ども育成学部）、石倉委員（子ども育成学部）、岩木学生課課長
- ・会議内容

開催日時・場所・出欠	協議事項
平成28年4月21日(木) 16:30～17:30 東黒牧C・呉羽C Web 会議 出席：8名 欠席：0名	(1)報告事項 ① 就職内定状況について ② キャリア支援センター事務分掌（業務分担）について ③ 今後の行事予定について ④ インターンシップ説明会について ⑤ その他 各学部からの報告 ・現代社会学部キャリア支援委員会からの報告 ・子ども育成学部キャリア支援委員会からの報告
平成28年5月26日(木) 16:30～16:50 東黒牧C・呉羽C Web 会議 出席：8名 欠席：0名	(2)報告事項 ① 平成28年度役員会議資料について ② 平成28年度インターンシップについて ③ 平成28年度就職内定状況について ④ 平成28年度アクションプランについて ⑤ その他 各学部からの報告 ・子ども育成学部キャリア支援委員会からの報告
平成28年6月23日(木) 16:45～17:15 東黒牧C・呉羽C Web 会議 出席：8名 欠席：0名	(1) 審議事項 ① 「2017年度採用のための大学案内」の作成要領について (2)報告事項 ① 富山県インターンシップ推進協議会の企業別担当教員について

	② 就職内定状況について ③ その他 各学部からの報告 ・現代社会学部キャリア支援委員会からの報告 ・子ども育成学部キャリア支援委員会からの報告
平成 28 年 7 月 28 日(木) 16:45～17:10 東黒牧 C・呉羽 C Web 会議 出席：8 名 欠席：0 名	(2) 報告事項 ① 平成 28 年度インターンシップについて ― ② 大学コンソーシアム職場訪問研修の申し込み状況について ③ とやま就活バスツアー ④ 現在の就職状況について ⑤ 保護者相談会の実施報告について(現代社会学部) ⑥ その他 各学部からの報告 ・現代社会学部キャリア支援委員議事要録について ― 資料 4 ・子ども育成学部キャリア支援委員会議事要録について ― 資料 5・資料 6
平成 28 年 9 月 26 日(月) 10:30～10:55 東黒牧 C・呉羽 C Web 会議 出席：8 名 欠席：0 名	(1) 審議事項 ① 企業・事業所・大学講演会について ② 「2017 年度採用のための大学案内」の進捗状況について ③ その他 (2) 報告事項 ① 後期キャリア支援関係オリエンテーションについて ② 就職内定状況について(平成 28 年 9 月 23 日現在)について ③ インターンシップ実施報告書役割分担(現代社会学部) ④ キャリア支援講座について(子ども育成学部)
平成 27 年 10 月 27 日(木) 16:30～17:15 東黒牧 C・呉羽 C Web 会議 出席：8 欠席：0 名	(1) 審議事項 ① 「平成 28 年度 企業・事業所・大学講演会」について ② 「平成 28 年度学内合同企業説明会」の日程(案)について ③ 「就職説明・相談会及びアンケートの実施」(COC+)について ④ 「2016 年度採用のための大学案内」の進捗状況について ⑤ 「平成 28 年度インターンシップ実施報告書」の進捗状況について ⑥ その他 (2) 報告事項 ① 富山県ひとづくり財団高等教育振興財団要望調書について ② 就職内定状況について(平成 28 年 9 月 23 日現在)について ③ その他 各学部からの報告 ・現代社会学部キャリア支援委員会議事要録について ・子ども育成学部キャリア支援委員会議事要録について (3) その他
平成 28 年 11 月 28 日(月) 16:30～17:00 東黒牧 C・呉羽 C Web 会議 出席：8 名 欠席：0 名	(1) 審議事項 ① 平成 29 年度予算(案)について ② 「平成 28 年度学内合同企業説明会」について ③ その他 (2) 報告事項 ① 「インターンシップ就業体験発表会・特別講演会」について ② 「平成 28 年度企業・事業所・大学講演会」の報告について ③ 就職内定状況について(平成 28 年 11 月 28 日現在)について ④ その他

	各学部からの報告 ・ 現代社会学部キャリア支援委員会議事要録について ・ 子ども育成学部キャリア支援委員会議事要録について
平成 29 年 1 月 16 日(月) 16:30～17:00 東黒牧 C・呉羽 C Web 会議 出席：6 名 欠席：2 名	(1) 審議事項 ① 一般企業対象就職説明会及び懇談会について ② その他 (2) 報告事項 ① 「学内合同企業説明会」について(平成 29 年 1 月 16 日現在) ② 就職内定状況について(平成 29 年 1 月 16 日現在) ③ その他 各学部からの報告 ・ 現代社会学部キャリア支援委員会議事要録について (3) その他
平成 29 年 2 月 28 日(月) 13:00～13:30 東黒牧 C・呉羽 C Web 会議 出席：7 名 欠席：1 名	(1) 審議事項 ① 「平成 28 年度学内合同企業説明会」について ② 平成 29 年度キャリア教育について ③ その他 (2) 報告事項 ① 平成 28 年度「地方創生フォーラム」の実施報告について ② 就職内定状況について(平成 29 年 2 月 28 日現在) ③ その他 各学部からの報告 ・ 現代社会学部キャリア支援委員会議事要録について ・ 子ども育成学部キャリア支援委員会議事要録について
平成 29 年 3 月 24 日(金) 9:30～10:05 東黒牧 C・呉羽 C Web 会議 出席：6 名 欠席：2 名	(1) 審議事項 ① 平成 29 年度キャリア関係前期オリエンテーションについて ② その他 (2) 報告事項 ① 平成 28 年度学内合同企業説明会アンケート結果について ② 平成 29 年度予算について ③ 就職内定状況について(平成 29 年 3 月 15 日現在) ③ その他 各学部からの報告 ・ 現代社会学部キャリア支援委員会議事要録について

【評価】

昨年度に引き続き WEB を使い会議が行なわれたが、順調に審議が行なわれた。月 1 回のペースも適当であった。また、会議時間の短縮化を図り、遅くとも 1 時間以内で終了した。

【課題】

特になし。

5-1. 国際交流センター運営会議

【目標】

本学の国際交流に関する事項について、教職員による協議を行う。

【実施内容】

・ 構成メンバー

才田国際交流センター長、湯国際交流センター次長、高橋哲郎教員、福島教員、秦野教員、B. パプリー事務 山崎・岩木・吉村

・ 会議内容

開催日時・場所・出欠	審議事項	報告事項
------------	------	------

第1回 平成28年4月28日 16:20～18:50 東黒牧C・4号館402号室 出席：8名 欠席：1名	1.国外の大学との協定書(案)について 2.サマースクール実施計画 3.英語で授業を行うためのFD 4.政府開発援助外国人留学生修学援助費補助金(授業料減免学校法人援助)対象者について 5.平成28年度の奨学金受給者の推薦について	1.大邱大学プロジェクトと関係者の来訪 2.中国協定校からの秋入学入試 3.H28年度第1回国際化推進会議 4.自己点検報告書及び年報の作成 5.留学・海外研修プログラム説明会 6.TOEICのオンライン講座について
第2回平成28年5月18日 16:20～18:30 東黒牧C・4号館402号室 出席：8名 欠席：1名	1.大邱韓医大学との学術交流及びダブルディグリー協定について 2.大邱大プロジェクトへの協力について 3.今年度の事業計画のスケジュール化 4.TOEIC学修環境整備 5.その他	1.TUINS英語教育スタッフ会議第1回
第3回平成28年6月23日 16:20～18:00 東黒牧C・4号館402号室 出席：9名 欠席：0名	1.2016年後期交換留学生の受け入れについて 2.チューターの選任について 3.長期海外留学(特に英語圏)の海外旅行保険の加入について(別資料) 4.サマースクールの状況について 5.その他	
第4回平成28年8月4日 16:20～18:00 東黒牧C・4号館402号室 出席：8名 欠席：1名	1.TOEIC受験料補助規定及び英語学習支援システム募集要項について 2.TUINS English Camp2016実施案について 3.ロータリー米山記念奨学金について 4.サマースクールPart2実施案 5.その他	
第5回平成28年10月6日 16:20～18:00 東黒牧C・4号館402号室 出席：8名 欠席：1名	1.大邱韓医大学校との交流協定及び複数学位取得プログラムに関する協定について 2.PSUとの授業料免除に関する覚書	1.交換留学生のための日本語補講スケジュール 2.大邱大学来学日程について 3.JASSO留学支援制度奨学金申請 4.大学HPへの海外研修プログラムの掲載 5.TOEIC・IP 6.富山市国際交流フェスティバル参加について 7.富山県ひとづくり財団補助申請のための来年度の国際交流フォーラムのテーマ 8.TUINS English Camp 2016
第6回平成28年10月27日 16:30～18:40 東黒牧C・4号館402号室 出席：8名 欠席：1名	1.H29年度4月からの交換留学生希望者(受入れ)について 2.H27年度国際交流センター年報作成と役割分担 3.H29年度国際交流フォーラム計画 4.外国語パンフレット作成と役割分担 5.アイベック奨学金(貸与)運用規定に	1.PSUとの授業料免除に関する覚書締結について 2.TOEIC試験結果について 3.富山市国際交流フェスティバル(11月13日)への参加について

	について	
第7回平成28年11月17日 16:30～18:00 東黒牧C・4号館402号室 出席：8名 欠席：1名	1.平成29年度交換留学生の希望者について 2. アルク TOEIC 直前対策集中講座の日程 3 平成29年度国際交流センター年間行事について 4.平成27年度国際交流センター国際交流活動年報について 5.外国語パンフレット作成について	1.富山市国際交流フェスティバルについて(11月13日(日)CiCサテライト) 2.29年度留学希望者について
第8回平成28年12月15日 16:30～18:00 東黒牧C・4号館402号室 出席：8名 欠席：1名	1. インターナショナルプログラム希望者について 2. TOEICテスト直前集中講義受講生及びIP受験の募集について 3. 私立大学等改革総合支援事業「タイプ4グローバル化対応」の整備について 4. TOEIC公開テスト会場提供について 5. 第8回国際交流フォーラムの日程と後援者について	1. EMBAの短期プログラム参加募集について 2. オーストラリア異文化研修のニュースペーパーについて 3. アイベック奨学金、スポンサーとの協議結果 4. 2016年「異文化研修(カナダ)履修者」について
第9回平成29年1月19日 16:30～18:30 東黒牧C・4号館402号室 出席：9名 欠席：0名	1.海外派遣促進策の検討 2.コンソーシアムの活用 3.グローバル人材副専攻プログラム受講生募集案内 4.28年度グローバル化対応 5.29年度グローバル化対応に向けて 6.フィリピン学生訪日団との交流会	1.国際化推進会議報告 2.Jasso 奨学金採択結果 3.留学中の学生情報 4.帰国学生報告 5.春休み&来年度の派遣予定状況
第10回平成29年2月23日 14:40～17:00 東黒牧C・4号館402号室 出席：8名 欠席：1名	1. ラーチャモンコン工科大学との協定について 2.外国語パンフレットについて 3.国際交流フォーラムについて 4.その他	1.国際交流センタースケジュール 2.留学生の近況
第11回平成29年3月 14:30～ 東黒牧C・4号館402号室 出席：8名 欠席：1名	1.ラーチャモンコン工科大学との協定について 2.大連外国語大学との協定について 3.外国語パンフレットについて 4.オリエンテーション及び留学説明会について	1.新入生の状況について 2.卒業生の状況について

【評価】

留学生の1年生入学減少が続いており、協定校との協力を得て、2+2編入学生の増加を図るため協定校の増加を図った。TOEIC IP を今年度から取り入れ、英語自宅学習システム受講者を中心に受験者数の増加を図った。次年度に繋げるよう受講者の増加を図る工夫が必要である。また、本学の学生が英語に親しみつつ楽しく学ぶ場として、東黒牧キャンパス厚生棟に English Café がオープンさせた。

【課題】

TOEIC IP (本学学生対象の合同受験) を年2回実施し、一人でも多く受けさせ英語力を付けさせる。

また、海外留学についても、多く参加できるように努力をする。

【評価と今後の課題】

28年度は11回の運営会議を開催した。毎月の開催を目指したい。

5-2. 国際化推進委員会会議

【実施計画】

富山国際大学の国際化を推進することを目的とし、富山国際大学国際化推進委員会を原則2ヶ月に一度開催する。

【実施内容】

- ・構成メンバー：中島学長、尾畑現代社会学部長、辻井子ども育成学部長、長尾学長室長、大谷学務部長、才田国際交流センター長、湯教授、福島教授、村上教授、中島事務部長、岩木課長
- ・会議内容

開催日時・場所・出欠	議題事項
平成28年6月7日(火) 16:30～19:00 東黒牧キャンパス 大会議室 出席：10名 欠席：1名	①副専攻について ②平成28年度私立大学改革総合支援事業タイプ4の申請について ③大邱大学、国際大学、県立大学合同プログラムについて ④その他
平成28年7月12日(火) 16:30～ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席：11名 欠席：0名	①平成28年度私立大学改革総合支援事業タイプ4の申請について ②グローバル人材育成プログラムについて ③その他
平成28年9月20日(火) 15:00～ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席：11名 欠席：0名	①グローバル人材育成プログラムについて ②その他
平成28年11月8日(火) 16:30～ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席：10名 欠席：1名	①グローバル副専攻について ②国際交流フォーラム2017について ③協定(大邱韓医大)について ④アイベック奨学生について ⑤その他
平成29年1月10日(火) 16:30～ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席：10名 欠席：1名	①年報について ②タイプ4について ③その他
平成29年3月10日(火) 16:00～ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席：9名 欠席：2名	①留学生の授業料について ②留学生の秋季入学について ③その他

【評価】

全学的に国際化を推進することを目的としており、この会議での決定に基づいて国際交流センターの運営や具体的な国際化事業が行われている。学長を議長として、両学部長他関連する役職者でメンバー構成されているため、全学的方針を速やかに決定することが出来ている。

【課題】

会議での方針が大学全体に周知されていないことがあり、現場に混乱をもたらすこともある。意思決定機関と現場との調整がうまく機能しないことがあり、調整努力が求められる。